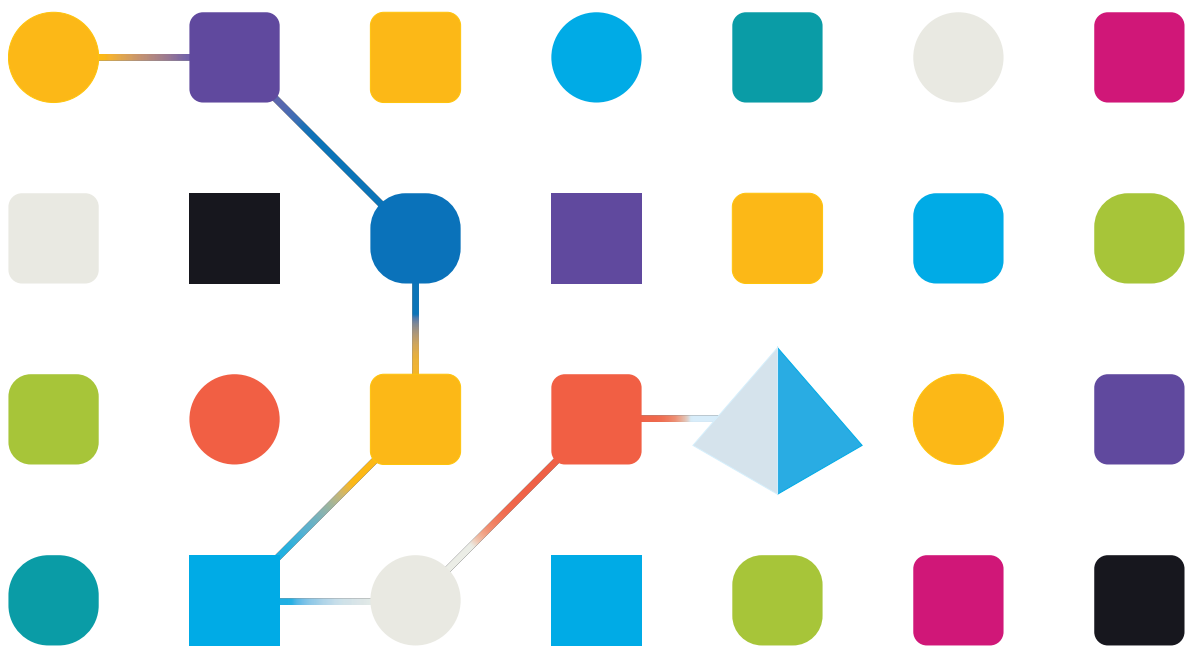


blueprism[®]

Interact 4.7

Plugin ユーザーガイド

Document Revision: 2.0



商標および著作権

本文書に記載されている情報は、Blue Prism Limitedが独占的に所有する機密情報であり、権限を与えられたBlue Prism担当者の書面による同意なしに、第三者に開示してはなりません。本文書のいかなる部分も、複写機などの電子的あるいは機械的な形式や手段を問わず、Blue Prism Limitedの書面による許可を得ることなく、複製または送信してはなりません。

© 2023 Blue Prism Limited

Blue Prism、Blue Prismのロゴ、Prismデバイスは、Blue Prism Limitedおよびその関係会社の商標または登録商標です。All Rights Reserved.

すべての商標は本文書によって確認され、各所有者のために使用されています。
Blue Prismは、本文書で言及する外部Webサイトの内容に関して、責任を負いません。

Blue Prism Limited, 2 Cinnamon Park, Crab Lane, Warrington, WA2 0XP, United Kingdom。
英国で登録:登録番号4260035。電話:+44 370 879 3000。Web:www.blueprism.com

内容

Interactプラグイン	5
このガイドの対象者は?	5
Interactについて	5
Interactプラグインのスタートガイド	6
Hubにログインする	6
Interactプラグインを開きます	7
Interactフォームを作成する	8
フォームを追加する	9
ページをフォームに追加する	11
フィールドをフォームに追加する	14
ルールをフォームに追加する	17
フォームを保存する	19
フォームを管理する	20
バージョン管理	20
フォームをインポートする	22
フォームをテストする	22
キーフィールド	23
フォームを編集する	25
フォームを削除する	25
検索オプション	25
フォームをデプロイする	28
フォームに役割を追加する	28
役割にフォームを追加する	28
フォームでキャプチャタイプを使用する	29
テキスト	29
テキスト領域	33
数値	35
日付	38
時間	41
アップロード	43
段落	45
罫線	47
ドロップダウン	48
ラジオグループ	51
チェックボックスグループ	53
表	56
正規表現を使用する	58
例:国民保険番号	59
社会保障番号の例	60
例:英国の携帯電話番号	61
ルールを使用する	62

ルールの例	62
ルールロジック	66
Interactの制限	68
要素数	68
フォーム用のカスタムアイコン	68
フォームフィールドの制限	68
Interactフォームとビジネスプロセスの関係	68

Interactプラグイン

このガイドでは、Hubで使用できるInteractプラグインの機能と使用法について説明します。Interact Webベースアプリケーションの詳細については、「[Interactユーザーガイド](#)」を参照してください。

Interactを活用することで、自動化の開発者は、ユーザーが初期化の時点だけでなく、ユーザーが進捗をレビューする必要がある場合のプロセス中にも自動化と連携できるWebベースのフォームを作成し、「ユーザーとDigital Workerのコラボレーション」アプローチを可能にします。このガイドの一部では、ユーザーはBlue Prism Digital Workforceに精通しており、HubやBlue Prismなどのコンポーネントの使用経験があることが前提となります。

このガイドの対象者は?

このガイドは、フォームを作成し、エンドユーザーが利用できるようにフォームを作成し公開するRPA開発者が使用することを目的としています。このガイドでは、「if-then」ステートメント構造と正規表現に精通し、ユーザーがBlue Prism Digital Workforceに精通し、HubやBlue Prismなどの関連コンポーネントの使用経験があることを前提としています。

Interactについて

Digital Workforceがエンタープライズの参照可能な使用事例を展開するにつれ、Digital Workersとユーザーがビジネスプロセスのエンドツーエンドの実行においてコラボレーションする必要性が一層高まっています。また、リソースに対応できる人に対する柔軟性を提供するには、Digital Workforceに仕事を割り当てる革新的な方法が必要です。Blue Prism Interactは、新規および既存のBlue Prismユーザーに、ビジネスプロセス内のDigital Workforceとのエンドユーザーインタラクションのためのコラボレーションインターフェイスを提供します。ビジネスプロセスに関連するさまざまな作業を開始、確認、受信、認証します。また、Blue Prism Interactは、ノーコードのフォームデザイナーを使用するか、Blue Prismビジュアルビジネスオブジェクト (VBO) を使用してビジネスプロセス要件に基づいてフォームを作成することで、ユーザーは動的なWebインターフェイスを作成できるようになるため、必要なスキル基準を減らすことができます。

Blue Prism Interactの機能は、2つのBlue Prismコンポーネントに分割されています。1つめは、開発者がHubとフォームプラグインを使用して、エンドユーザーが利用できるフォームを作成および公開できる機能です。2つめは、公開されたフォームを使用してDigital Workforceと連携できるエンドユーザーインターフェイスです。

InteractのエンドユーザーインターフェイスにはWebブラウザを介してアクセスするため、ローカルにインストールされるソフトウェアは不要です。Interactは、内部のWebアプリケーションとしてアクセスすることも、外部に公開することもできます。

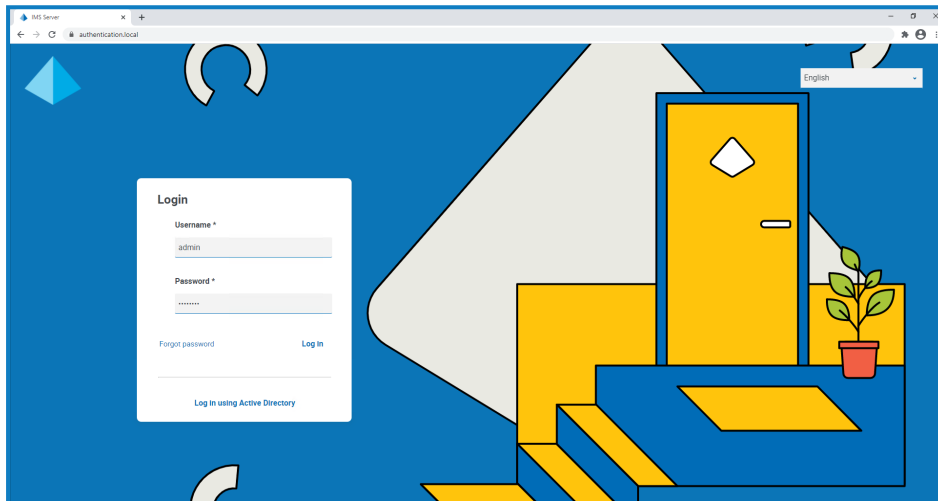
 Interactの全機能を使用するには、インターネットブラウザでJavaScriptを有効にする必要があります。


Interactプラグインのスタートガイド

システム管理者が、HubとInteractへのアクセスに使用するアカウントを作成します。アカウントを作成すると、アカウントの詳細とアクセス情報が記載されたメールが送信されます。初めてログインする場合は、メールに記載されている指示に従ってください。

Hubにログインする

1. ブラウザーを起動し、Authentication ServerのWebサイトに移動します。ウェブサイトのアドレスはシステム管理者から提供されます。この例では、<https://authentication.local>になっています。



 追加の **{provider}>を使用してログイン** オプションは、関連認証タイプ(Active DirectoryまたはSAML 2.0など)がシステムに構成済みである場合にのみ表示されます。

2. 次のいずれかの方法を使用してログインします。
 - 認証情報を入力し、**ログイン**をクリックします。
 - **{provider}>を使用してログイン** (たとえば**Active Directoryを使用してログイン**) をクリックします。

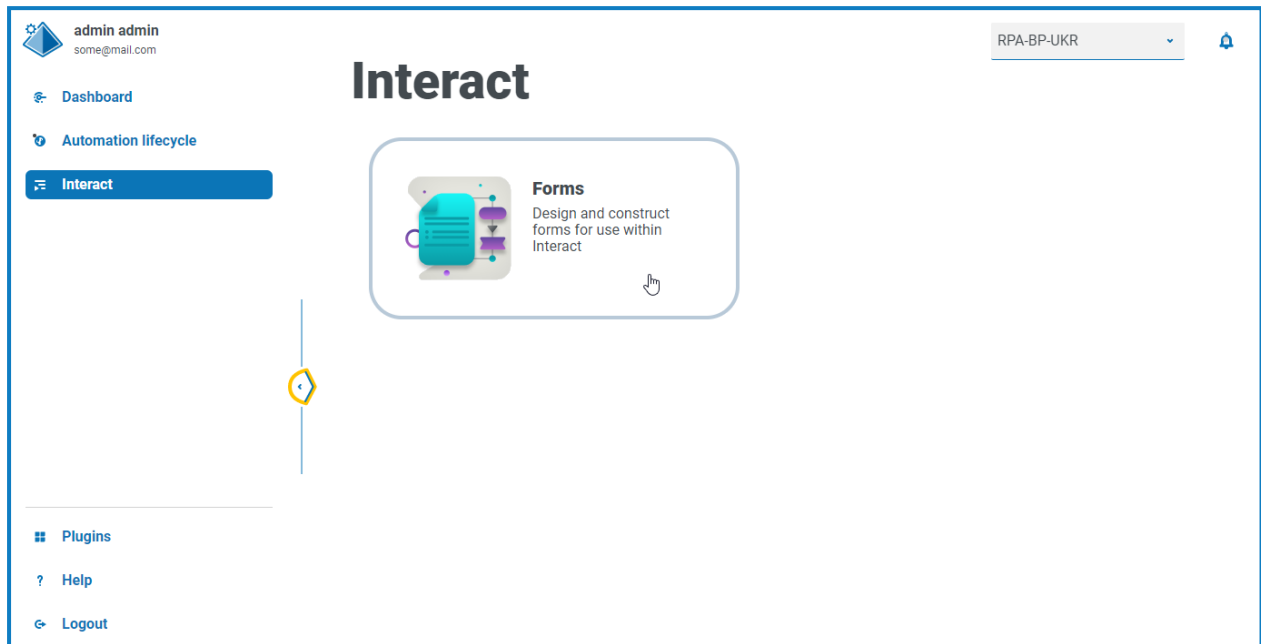
アプリケーション選択画面が表示されます。Hubへのアクセス権のみを持っている場合、Hubのタイルのみが表示されます。また、InteractのWebベースのアプリケーションにもアクセスできる場合は、次に示すように、Hub用のタイルとInteract用のタイルが表示されます。



3. **[Hub]**をクリックして、HubのWebサイトを起動します。

Interactプラグインを開きます

1. サイドバーメニューの [Interact] をクリックして、Interactプラグインを開きます。

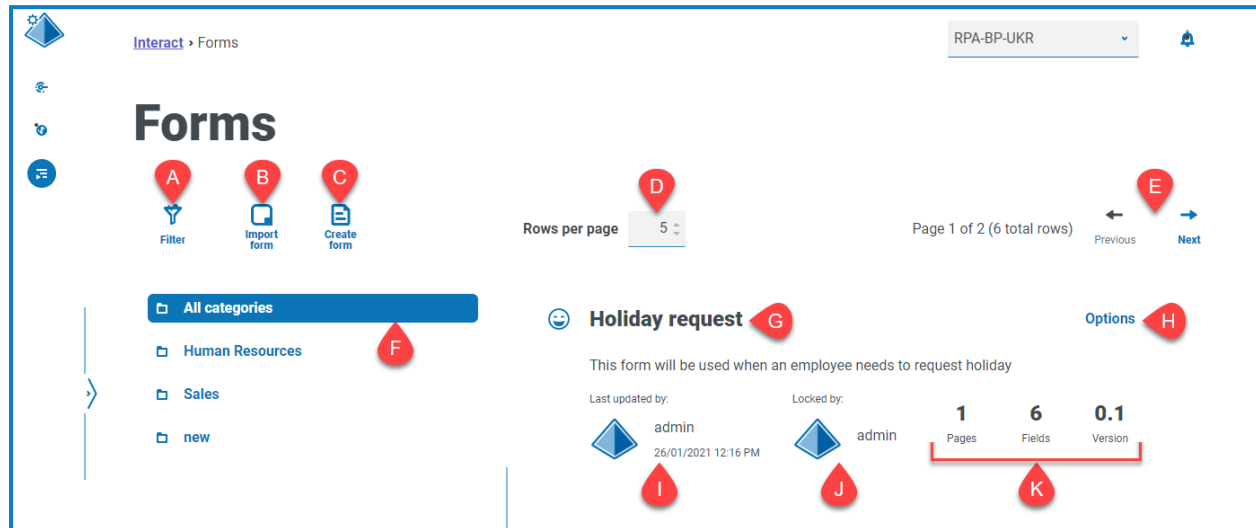


フォームコンポーネントは現在、Interactプラグインの唯一のコンポーネントです。

2. コンポーネントタイルをクリックして開きます。


Interactフォームを作成する

Interactプラグインでフォームを開くと、[フォーム] ページが表示されます。特定の**カテゴリフォルダー**または**すべてのカテゴリ**フォルダーを選択すると、作成したフォームを表示できます。フォームは、最新の更新日から順に降順に表示されます。



[フォーム] ページには、次の情報と機能があります。

- A. **フィルター** – 表示される情報にフィルターを適用します。その後、必要なフィルターをオンにして、表示する適切な情報を入力または選択できます。たとえば、次をオンにできます。 **更新者** フィルターをオンにし、特定のユーザーを入力します。

 デフォルトでは、**最新** フィルターがオンになっており、各フォームの最新バージョンのみが表示されます。以前のバージョンは、見やすくするために非表示になっています。 **フィルター** をクリックしてフィルターを表示し **最新** フィルターをオフにすると、以前に保存したバージョンを確認できます。

- B. **フォームをインポート** – Interactシステムから以前にエクスポートされた**フォームをインポート**します。
- C. **フォームを作成** – **新しいフォーム**を追加します。
- D. **ページごとの行数** – ページに表示されるフォームの数。デフォルトでは、これは5に設定されています。ページに表示されるフォームの数を変更するには、数字を入力するか、矢印を使用します。
- E. **前へと次へ** – クリックすると、フォームのページを移動できます。
- F. **カテゴリフォルダー** – フォームのカテゴリ。選択すると、カテゴリフォルダーが強調表示され、そのカテゴリのフォームが表示されます。
- G. **フォーム名** – フォームの名前。下に短いサマリーが表示されます。
- H. **オプション** – フォームで実行できるタスクにアクセスします。
- I. **更新者** – フォームを更新した最後のユーザーのユーザー名とプロフィール画像、および更新日時。
- J. **ロック者** – 現在フォームを編集しているユーザー。他のユーザーは、ロックされている間はフォームを編集できません。フォームがロックされていない場合、このエリアは空白です。
- K. **フォームの統計** – フォームに関する追加情報。これは、そのバージョンにコミットされたデータのみを表示し、ドラフトフィールドなどのドラフト情報は表示されません。

フォームを追加する

フォームを作成する前に、ビジネスプロセスがすでにあることが必要です。[フォームを作成]ボタンが無効になっている場合、フォームを作成するためのビジネスプロセスがありません。ビジネスプロセスに関連付けられるフォームは1つのみです。ビジネスプロセスの作成についての詳細は、「Automation Lifecycle Management(ALM) ユーザーガイド」を参照してください。

1. [フォーム] ページで、[フォームを作成] をクリックします。
[フォームを作成] ページが表示されます。


2. フォームの全体的な詳細を定義するには、次の必須フィールドに入力します。

- **Business Process** – 作成中のフォームに関連するビジネスプロセス。
- **名前** – フォームの名前。
- **説明** – フォームの説明。
- **配信方法** – フォームを配信する方法。必要に応じて、[キュー]、[メール]、またはその両方を選択します。

[キュー]を選択すると、送信されたリクエストが処理のためにBlue Prismキューに追加されます。次のフィールドに入力して、キューの詳細を構成します。

- **環境** – 送信されるリクエストの送信先の環境。
- **キュー名** – 選択した環境のキューで、送信のロードに使用されるキュー。ドロップダウンリストには、最近使用した10個のキューが表示されます。目的のキューが表示されない場合は、更新アイコンをクリックして選択した環境のキューを再ロードし、フィールドに名前を入力してリストをフィルタリングします。

- **優先度** – これはオプションフィールドです。送信されるフォームのビジネス上の優先度。これは、1から999までの任意の値で、1が最高優先度になります。


 HubおよびInteractのCloudバージョンでは、この機能はIADAを使用します。IADA®が使用する主要なアプローチの1つは、優先度およびサービスレベル合意書 (SLA) に基づいて作業量 (Blue Prismのキュー項目) を測定することです。各アイテムは、これらのメトリックで個別にラベル付けされるか、関連するビジネスプロセスからこの値を継承し、作業の順序づけをサポートします。Digital Workerがプロセスの実行に「対応可能」な場合、IADA®は設定可能なプロパティに基づいて次善のアイテムを特定し、そのアクティビティをDigital Workerに返します。

この機能は、HubおよびInteractのオンプレミスバージョンでは利用できません。

- **SLA** – これはオプションフィールドです。送信されたリクエストが処理される、ビジネスのサービスレベル合意書 (SLA) の時間枠。定義はddd.hh:mm:ssで、000.00:00:01 ~ 999.23:59:59の範囲です。

[メール]を選択すると、送信されたリクエストがメールアドレスに転送され、確認されます。これは承認の送信ではありません。

- **Interact役割** – このフォームが使用できる役割です。この役割のメンバーであればInteract Webアプリケーションからフォームにアクセスできます。フォームを割り当てるには、Blue Prism Hubに役割が存在している必要があります。新しい役割が必要な場合は、Hub管理者にお問い合わせください。複数の役割を選択できます。

 新しいフォームの作成中に役割を選択すると、フォームが初めて保存されるとすぐにInteract Webサイトに公開されます。

フォームの作成中は、このフィールドを空白のままにしておくことをお勧めします。フォームが完成したらフォームの詳細を編集し、このフィールドに入力してフォームを公開します。詳細については、「[フォームをデプロイする ページ28](#)」を参照してください。

- **デフォルト承認タイプ** – 処理のために送信する前に、別のユーザーの承認を得るために送信できません。デフォルトで、これは **なし**]に設定されています。つまり、送信は承認のために送信されません。選択したものが以下の場合：
 - **単一承認者の場合**、**承認者**]フィールドが表示され、最終送信前にフォームからのリクエストを承認するユーザーを入力します。
 - **任意の承認者**]の場合、役割のメンバーであれば最終送信前にフォームからのリクエストを承認できます。

承認タイプが選択されている場合、**送信者を除外**]チェックボックスが表示されます。デフォルトでは、これが選択されています。フォームの送信者は、フォームの承認者として自動的に除外されます。したがって、フォームが役割のメンバーに送信され、送信者がメンバーであった場合、自分のフォームを承認することはできません。必要に応じて、このチェックボックスをオフにして、送信者がInteractで自分のフォームを承認できるようにします。

- **カテゴリー** – 定義したカテゴリーでフォームをグループ化して、誰がフォームにアクセスできるかを決定します。たとえば、財務、人事、販売のカテゴリーがある場合、特定のユーザーが役割を実行するために必要なカテゴリーのフォームにのみアクセスすることを許可できます。カテゴリーは、カテゴリーの名前を入力して定義します。入力すると、カテゴリーはドロップダウンリストから使用できるようになります。

- **アイコン** – Interactのフォームに表示される画像を選択して、簡単に識別できるようにします。 **プリセットアイコン**]を選択すると、事前に読み込まれたアイコンの1つを選択できます。これらは、アプリケーション、バンキング、データ、教育、エモーション、食品、ガジェット、医療、ネットワークとセキュリティ、科学技術、輸送、ユーザーインターフェイスのカテゴリに定義されています。または、 **アップロード**]を選択して自分のアイコンを参照し、自分のアイコンを読み込むこともできます。アイコンは、PNG、JPG、SVGのいずれかのファイルで、256 x 266 pxおよび30KB以下のサイズでなければなりません。


3. ページの下部にある **フォームを作成**]をクリックします。

新しく作成したフォームの **フォームを編集**]ページが表示されます。これで以下の必要な要素がフォームに追加できます。

- ページ
- フィールド
- ルール

ページをフォームに追加する

Interactでページがどのように表示されるかを考えておく役立つ場合があります。各ページは、Interact画面内のフォームのタブのように表示されます。したがって、フォームごとに複数のページを設定でき、必要な情報量を特定のセクションに分割できます。また、特定の条件を満たすときに特定のページのみが表示されるように **ルールを定義**することもできます。

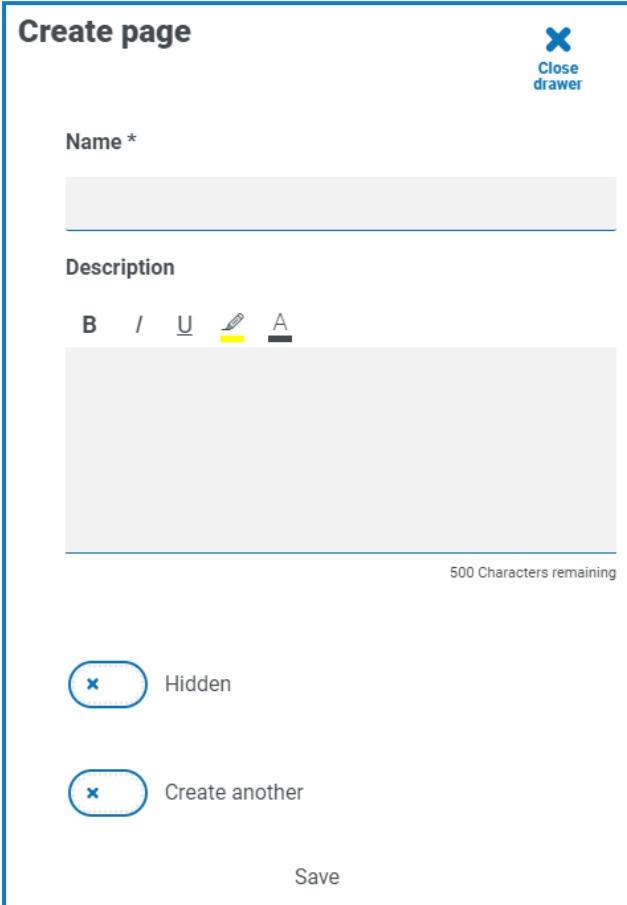
 1つのフォーム内の最大ページ数は10ページで、1ページあたり最大30個のフィールドを使用することをお勧めします。これを超えると、レンダリング時間が長くなります。

新しいフォームを作成したばかりで、ページを追加する必要がある場合は、手順2に進みます。

1. [Interactフォーム] ページで、目的のフォームの横にある **オプション**]をクリックし、 **フォームを編集**]をクリックします。

フォームを編集]ページが表示されます。


2. **ページを作成**]をクリックします。
ページを作成]パネルが表示されます。



Create page Close drawer

Name *

Description

B / U  A

500 Characters remaining

Hidden

Create another

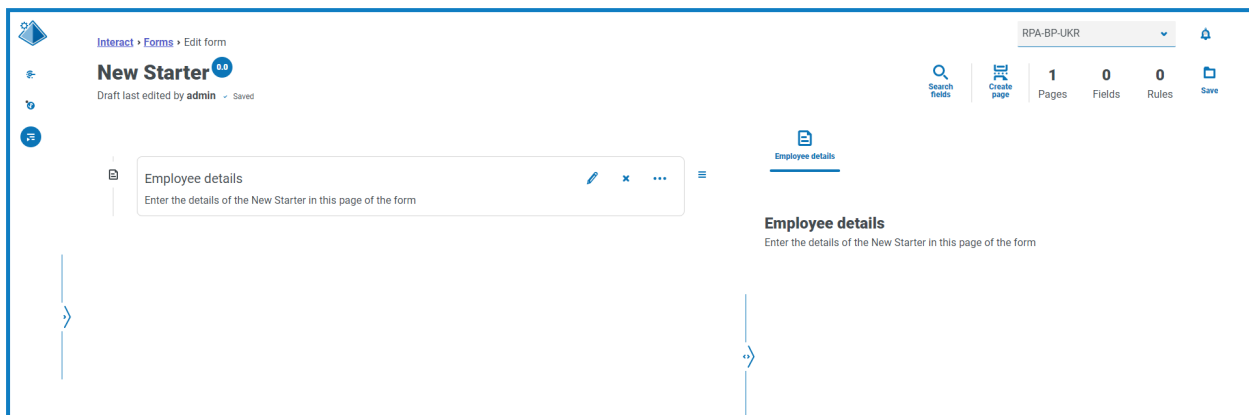
Save

3. 新しいページの名前と説明を入力します。
4. 必要に応じて、**非表示**]を選択します。選択する場合、ページは**特定の条件**が満たされた場合にのみ表示されます。
5. すぐに別のページを作成するには、**別に作成**]を選択します。

このページを保存すると、ページが作成されパネルは開いたままになり新しいページの詳細をすぐに入力できることを確認する通知が表示されます。フィールドには、保存したばかりの情報が含まれており、必要に応じて編集できます。


6. **保存]**をクリックします。

フォームを編集] ページに、作成したページが表示されます。



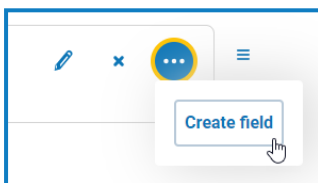
フォームを構成する要素は、フォームのタイトルのすぐ下にあるエリアに表示されます。右側のエリアはテストエリアです。これにより、ユーザーがInteractでフォームを見るときにフォームが表示され、追加したフィールドをテストできます。

フィールドをフォームに追加する

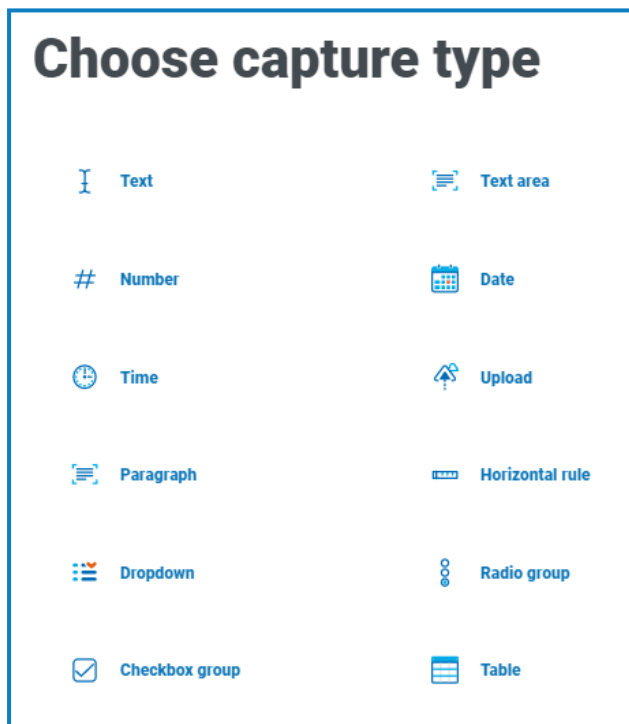
-  ページ上のフィールドの推奨最大数は、
- 1ページフォームに40個のフィールドです。
 - 複数ページフォームに30個のフィールドです。
- これを超えると、レンダリング時間が長くなります。

ページのある新しいフォームを作成したばかりで、フィールドを追加する場合は、手順2に進みます。

1. [Interactフォーム] ページで、目的のフォームの横にある **オプション**] をクリックし、 **フォームを編集**] をクリックします。
[フォームを編集] ページが表示されます。
2. 該当するページの省略記号アイコンをクリックし、 **フィールドを作成**] をクリックします。



[キャプチャタイプを選択] ダイアログが表示されます。



3. 目的のキャプチャタイプを選択します。

- テキスト
- 数値
- 時間
- 段落
- ドロップダウン
- チェックボックスグループ
- テキスト領域
- Date
- アップロード
- 罫線
- ラジオグループ
- 表

[罫線]を除き、これらはすべてフォーム内に入力フィールドを作成します。[罫線]は、純粋に視覚的要素です。これらのタイプの詳細については、「[フォームでキャプチャタイプを使用する ページ29](#)」を参照してください。

選択したフィールドタイプの [作成] ページが表示されます。


 別のフィールドタイプを使用する場合は、[作成] ページで **タイプを変更** をクリックします。

4. 選択したキャプチャのタイプに必要なフィールドに入力します。入力フィールドタイプにかかわらず、すべての入力フィールドには、最低限入力する必要がある以下の共通フィールドがあります。

- **初期状態** – ユーザーが最初にフォームにアクセスしたときにフィールドが設定されている状態。
 - **オプション** – ユーザーがフィールドに入力するかどうかは任意です。
 - **必須** – フォームを送信する前に、ユーザーは入力する必要があります。
 - **読み取り専用** – フィールドは編集できません。これは通常、ユーザーが確認できるように情報が取得および更新された自動化からの入力として使用されます。
 - **非表示** – フィールドには、所定の条件が満たされた場合にのみ表示されるように**ルール**が適用されます。
- **ラベル** – これはフォームのフィールドの横に表示されるテキストです。これは、ユーザーがフィールドに何を入力すべきかを理解できるように、わかりやすい名前とする必要があります。ラベルは50文字に制限されています。
- **オートメーションID** – これはオートメーション内のデータ項目に関連する名前です。このフィールドの形式は制限されています。小文字のみを使用し、スペースや特殊文字は使用できません。ハイフン「-」はスペースを表すことができます。ラベルが適用されると、フォーマット制限を使用してオートメーションIDが自動的に生成されます。これは提案に過ぎず、必要に応じて変更できます。自動化識別子は50文字に制限されています。
- **説明** – これは必須フィールドではありませんが、フォームのフィールドの横に「ヘルプテキスト」が表示されます。すべてのフィールド要素の説明は150文字に制限されています。

5. オプションで、入力されたデータが機密である可能性が高い場合は、次のいずれかまたは両方を選択できます。

- **[入力時にデータを隠す]** – このオプションを選択すると、入力した情報は、Interactのユーザーがフィールドに入力する際に画面にドットとして表示されます。
- **[送信時にデータを消去]** – このオプションを選択すると、Interactユーザーがこのフィールドに入力したデータはフォームの送信時に削除され、Interactデータベースには保存されません。データはBlue Prismデータベースに保存され、フォームの自動化プロセスの一部として構成される追加のストレージ送信先にも保存されます。

 このオプションは、**テキスト** フィールドでのみ使用できます。したがって、数値を送信して送信後に内容を編集する場合は、**数値** フィールドではなく **テキスト** フィールドを入力に使用します。

- 該当する場合は、使用する正規表現のタイプを選択します。
 - シンプル** – フィールド入力に、入力の長さの制限、使用できる文字と禁止文字の指定、初期値の設定など、簡単な制限を設定できます。詳細については、「[フォームでキャプチャタイプを使用する ページ29](#)」を参照してください。
 - 正規表現** – フィールド内のデータを郵便番号や識別番号などの特定の構造に適合させたい場合など、より複雑な制限を定義できます。正規表現の詳細については、「[正規表現を使用する ページ58](#)」を参照してください。
- フィールドを作成]** をクリックします。

フィールドがフォームに追加されます。すべての必須フィールドが完了されるまで、手順を繰り返します。

☰ アイコンをクリックして、フィールドを新しい場所にドラッグアンドドロップして並べ替えることができます。


省略記号アイコンをクリックし、**キーフィールドを作成]** を選択すると、キーフィールドとして識別するフィールドを1つ選択できます。選択すると、フィールドタイトルの下部にキーアイコンが表示されます。キーフィールドは、Interactの送信内で特定のテキストを検索するためのフィルターとして使用できます。詳細については、「[キーフィールド ページ23](#)」を参照してください。

キーフィールドには、**[テキスト]** または **[数値]** のフィールドタイプのみを選択できます。

[入力時にデータを隠す] または **[送信時にデータを消去]** を使用するようテキストフィールドが設定されている場合は、入力時にデータがフィールド表示される可能性があるため、キーフィールドとして設定しないでください。

ルールをフォームに追加する

ルールを使用することでフォームを制御し、指定した条件が満たされるかどうかに応じて、異なるフィールドまたはページをアクティブ化できます。テスト領域を使用すると、通常のユーザー使用のためにフォームをリリースする前にルールをテストできます。ルールの詳細については、「[ルールを使用する ページ62](#)」を参照してください。

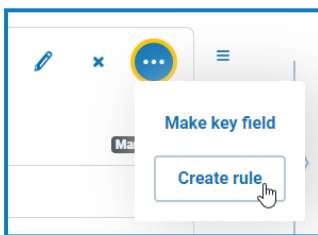
 Interactユーザーインターフェイスで実施される組み込みルールでは、現在のページで入力が必要な必須フィールドがある場合、新しいページに移動できません。このルールは [テスト] 領域には適用されません。

新しいフォームを作成したばかりで、[フォームを編集] ページがまだ開いている場合は、手順2に進みます。

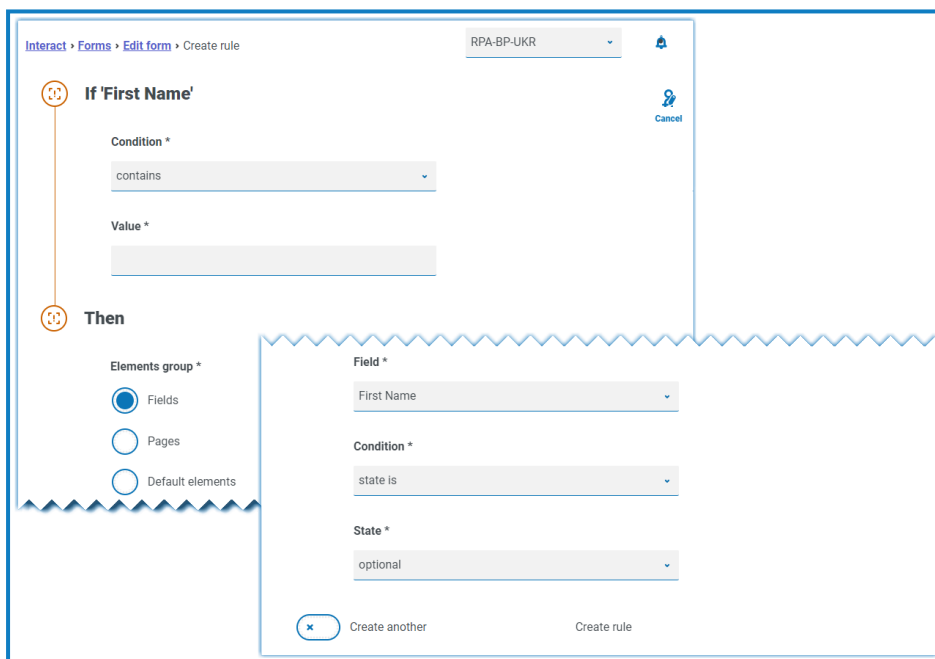
1. [Interactフォーム] ページで、目的のフォームの横にある **[オプション]** をクリックし、 **[フォームを編集]** をクリックします。

[フォームを編集] ページが表示されます。

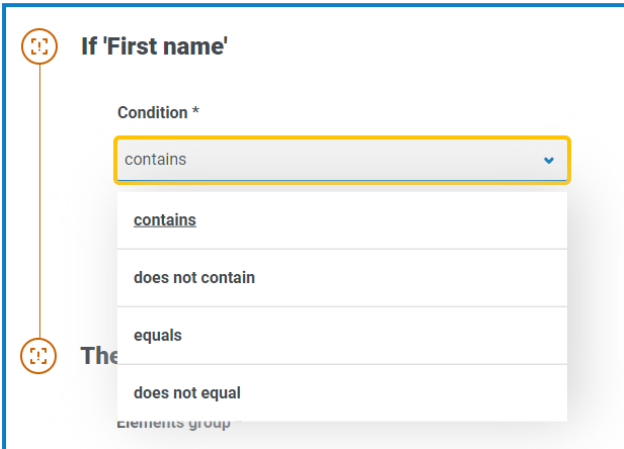
2. 該当するフィールドの省略記号アイコンをクリックし、 **[ルールを作成]** をクリックします。



[ルールを作成] ページが表示されます。



ルールは、一般的な「If」および「Then」ステートメントに基づいて作成されます。そのため、特定の条件が満たされると、定義されたアクションが実行されます。If条件は選択したフィールドに依存し、フィールドの名前はページのIfの横に表示されます。ルールのオプションは特定のフィールドタイプによって異なります。たとえば、[テキスト]フィールドの場合、「If」の条件は次のようになります。



3. Ifステートメントは次のように構成します。

a. **条件** – フィールドに対して実行する検証を選択します。例：

- 次を含む
- 次を含まない
- 等しい
- 等しくない

利用可能なオプションは、ルールを設定するフィールドのタイプによって異なります。

b. **値** – フィールド内で条件が検索する値を入力または選択します。

4. Thenステートメントは次のように構成します。

a. **要素グループ** – 必要なオプションを選択します。これは、ルールの結果が適用されるレベルを定義します。たとえば、特定のフィールド、ページ、またはデフォルト要素に影響するかどうかなどです。次のフィールドは、選択内容に応じて異なります。

b. **フィールド、ページ、またはデフォルト要素** – Ifステートメントがtrueの場合に影響を受けるオブジェクトを選択します。

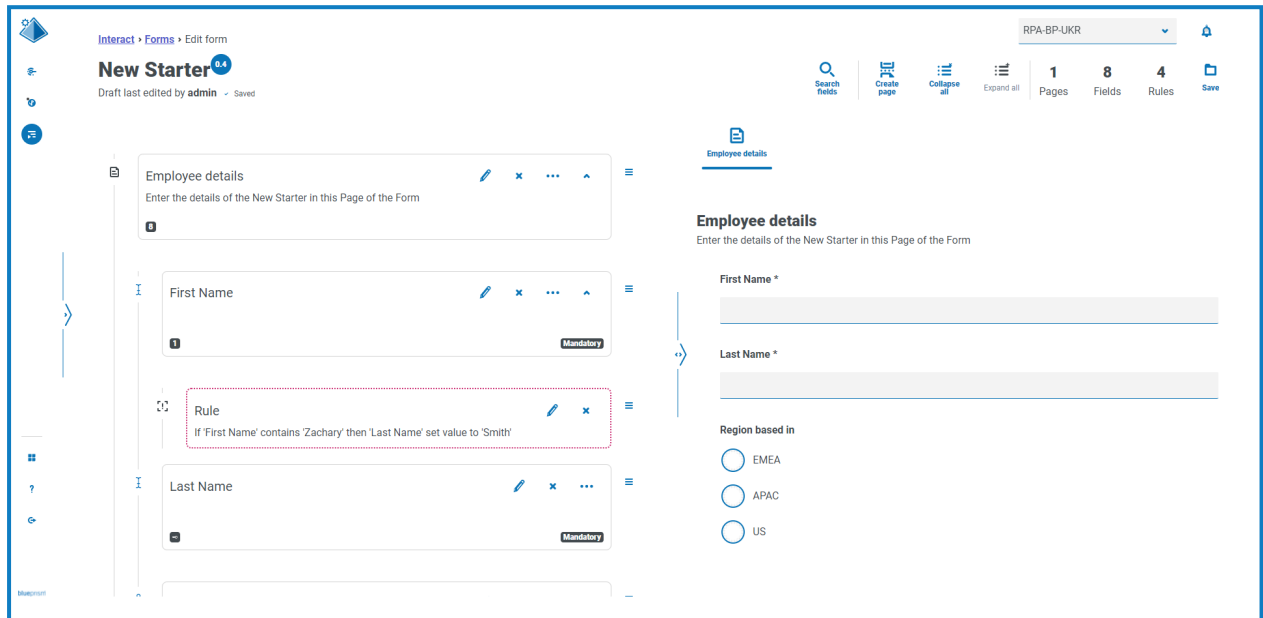
c. **条件** – Then節に対して実行するアクションを選択します。たとえば、値を設定、状態は、などです。使用可能なオプションは、**要素グループ**]で選択したオプションによって異なります。

d. **状態または値** – 新しい値を入力するか、Thenステートメントでのオブジェクトの状態を選択します。たとえば、状態を非表示または表示に設定します。

5. **[ルールを作成]**をクリックしてルールを追加します。

[別に作成]を選択すると、ルールが作成されていることを示すメッセージが表示されます。その後、ルール内のすべてのフィールドを編集して、新しいルールを作成できます。

それ以外の場合、**[フォームを編集]**ページが表示され、関連フィールドの下にルールが表示されます。数値インジケータがフィールドタイトルの下に表示され、その下のルールの数を示します。ここから、ルールを削除および編集できます。



フォームを保存する

ページ、フィールド、ルールを追加したら、フォームを保存する必要があります。この時点までは、フォームの情報はドラフトとして保存され、バージョンには確定されません。


新しいフォームを作成したばかり、または既存のフォームを編集したばかりで、**[フォームの編集]**ページがまだ開いている場合は、手順2に進みます。

1. **[Interactフォーム]**ページで、目的のフォームの横にある **[オプション]**をクリックし、**[フォームを編集]**をクリックします。
[フォームを編集]ページが表示されます。
2. **[保存]**をクリックします。
[マイナーを増やす]パネルが表示されます。
3. フォームの更新に関する説明を入力し、**[保存]**をクリックします。
フォームへの変更が保存され、バージョン番号が0.1増分されます。

フォームを管理する

バージョン管理

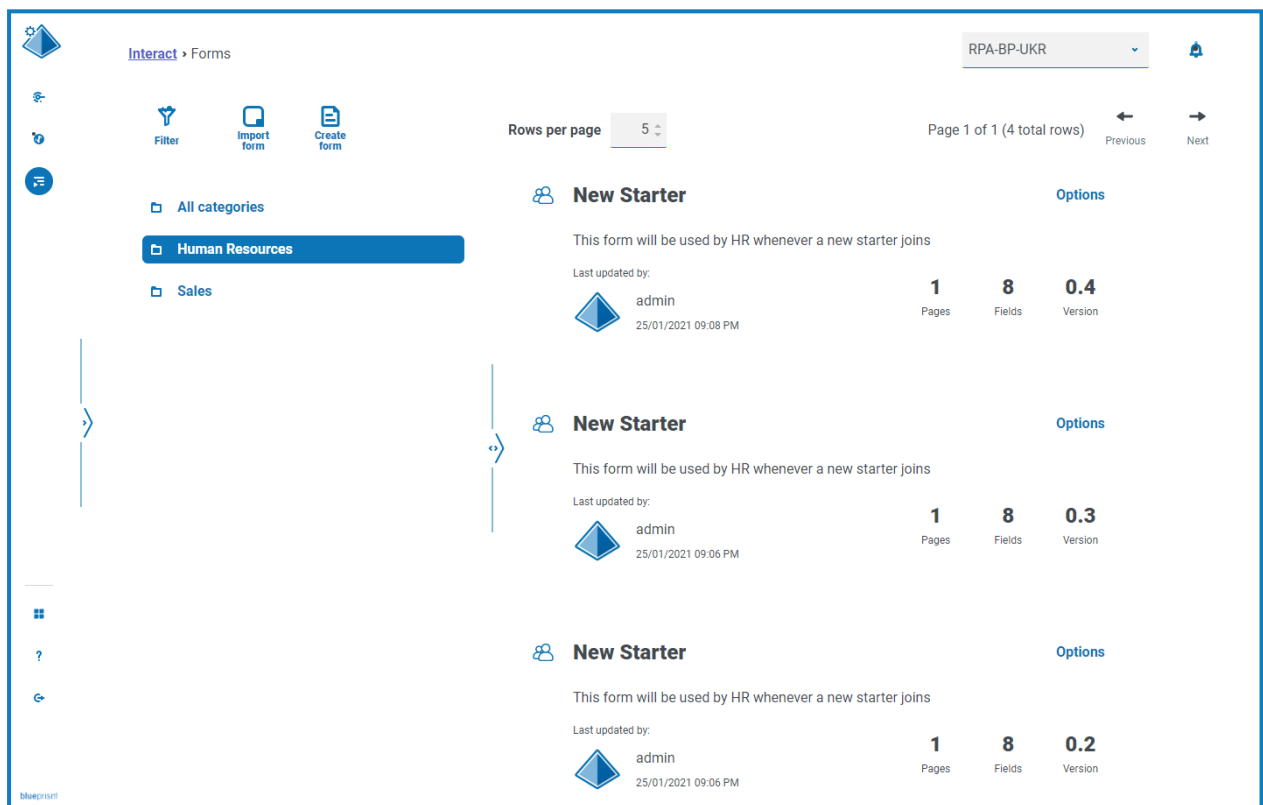
フォームは、開発中、支援のためにバージョン管理の対象となります。フォームが保存されるたびに、マイナーバージョンが増加し、識別しやすいように入力された説明が注釈付きで表示されます。

 デフォルトでは、**最新**フィルターがオンになっており、各フォームの最新バージョンのみが [フォーム] ページに表示されます。以前のバージョンは、見やすくするために非表示になっています。

フォームのマイナーバージョンをすべて表示するには:

1. [Interactフォーム] ページで、**フィルター**をクリックしてフィルターを表示します。
2. **最新**フィルターをオフにします。

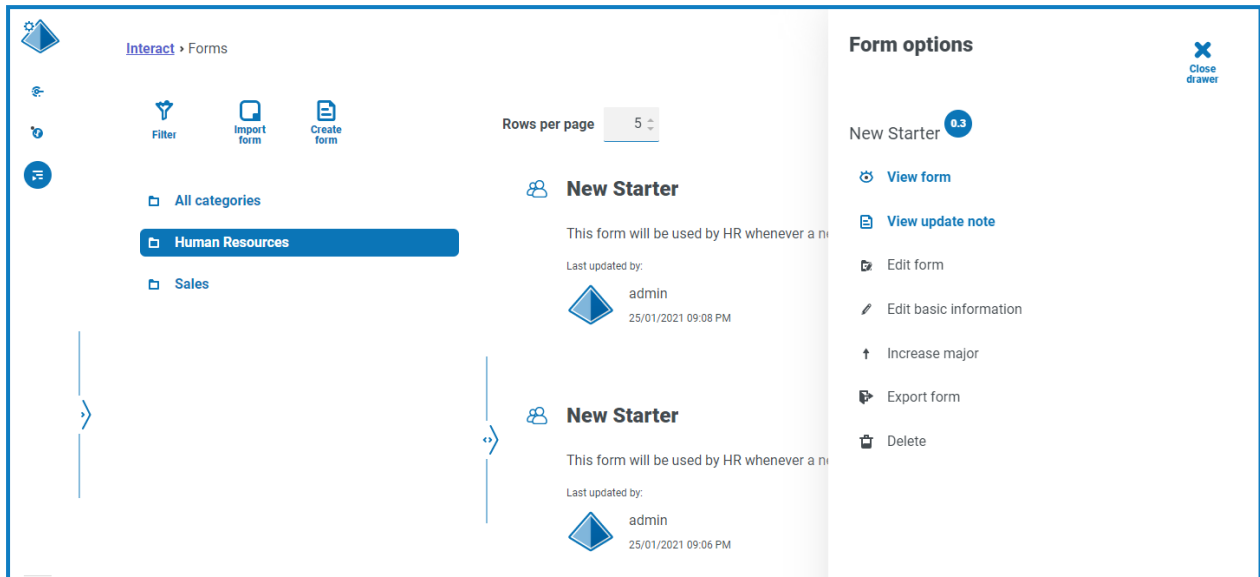
すべてのバージョンが表示されます。



The screenshot shows the 'Interact > Forms' page. On the left, there is a sidebar with a 'Filter' button and a category list including 'All categories', 'Human Resources' (selected), and 'Sales'. The main content area displays a table of forms. The table has columns for 'Last updated by', 'Pages', 'Fields', and 'Version'. Three rows are visible, all for a form named 'New Starter'. The first row shows version 0.4, the second row shows version 0.3, and the third row shows version 0.2. The 'Last updated by' column for all rows shows 'admin' and the timestamp '25/01/2021 09:08 PM' or '09:06 PM'. The 'Pages' column shows '1' and the 'Fields' column shows '8' for all rows. The 'Version' column shows '0.4', '0.3', and '0.2' respectively. The interface also includes a 'Rows per page' dropdown set to '5', a 'Page 1 of 1 (4 total rows)' indicator, and 'Previous' and 'Next' navigation buttons.

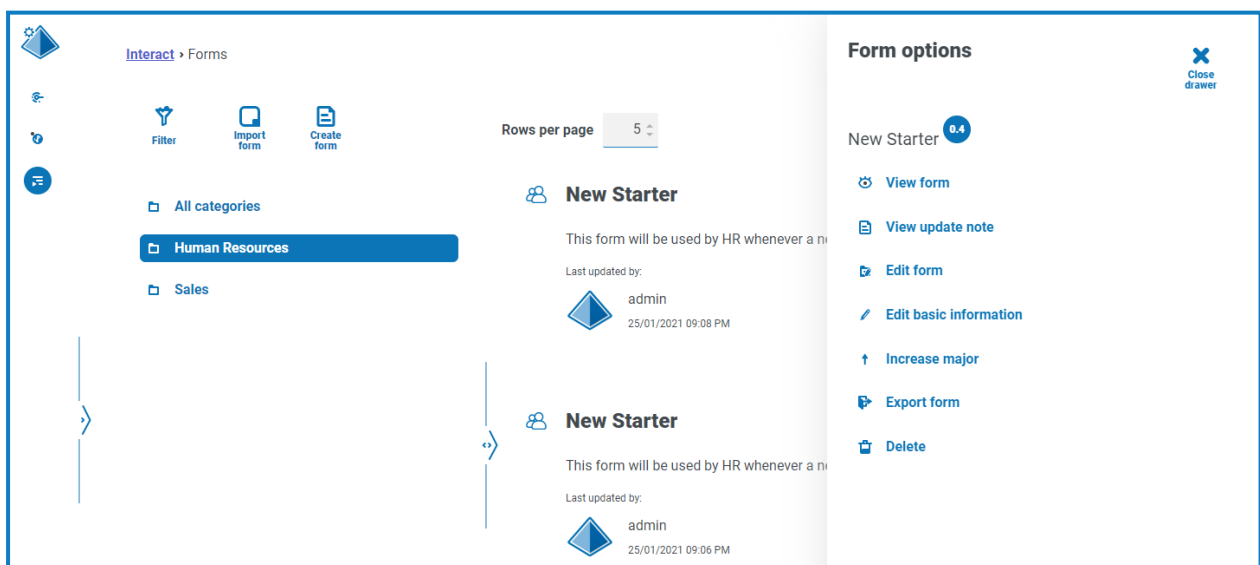
Last updated by	Pages	Fields	Version
admin 25/01/2021 09:08 PM	1	8	0.4
admin 25/01/2021 09:06 PM	1	8	0.3
admin 25/01/2021 09:06 PM	1	8	0.2

3. 必要に応じて、フォームの以前のバージョンで **オプション**] をクリックします。ここから、フォームを表示するか、更新ノートを表示するかを選択できます。



フォームの最新バージョンからのみ、すべてのオプションにアクセスできます。オプションには以下のものがあります。

- **フォームを表示** – フォームを表示し、[テスト]領域が使用できるようになりますが、フォームの編集や変更はできません。
- **更新ノートを表示** – 関連する更新ノートを表示します。
- **フォームを編集** – フォームの編集を続行できます。
- **基本情報を編集** – フォームに関連する基本情報の詳細を更新できます。これらはフォームが最初に作成されたときに入力する詳細です。
- **メジャーリリースを増やす** – フォームのバージョンをメジャーバージョンに増加します。
- **フォームをエクスポート** – 別のシステムにインポートするために、BPFORMファイル形式でフォームをエクスポートします。
- **削除** – フォームの最新バージョンを削除し、以前のバージョンに戻します。フォームの最初のバージョンも削除できません。




フォームをインポートする

以前にこのInteractシステムまたは別のInteractシステムからエクスポートされたフォームはインポートできるため、すでに開発済みのフォームを再作成する必要はありません。

フォームをインポートする前に、まだフォームが割り当てられていないビジネスプロセスを用意する必要があります。

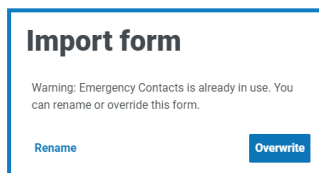
1. [Interactフォーム] ページで、**フォームをインポート** をクリックします。

 フォームが関連付けられていないビジネスプロセスがない場合は、**フォームをインポート** アイコンはアクティブ化しません。フォームをインポートする前に、ビジネスプロセスを作成する必要があります。ビジネスプロセスに関連付けられるフォームは1つのみです。詳細については、「[Automation Lifecycle Management ユーザーガイド](#)」を参照してください。

2. 必要とするエクスポートされたフォームに移動して選択します。

フォームが次の場合：

- Interactシステムにすでに存在する場合、メッセージが表示されます。



- 存在しない場合、**フォームをインポート** ページが表示されます。

3. 必要に応じて、次のいずれかのオプションを選択します。

- **上書き** – **フォームをインポート** ページが表示されます。ダイアログには、説明、配信方法、デフォルトの承認タイプ、更新ノート、カテゴリ、アイコンを追加できる **フォームを編集** ページと同じフィールドがあります。
- **名前の変更** – **フォームをインポート** ページが表示されます。フォームを割り当てるビジネスプロセスを選択し、フォームの新しい名前を入力する必要があります。

4. 必要に応じて、フォームをリンクするビジネスプロセスを変更します。

5. **フォームをインポート** をクリックして、インポートを完了します。

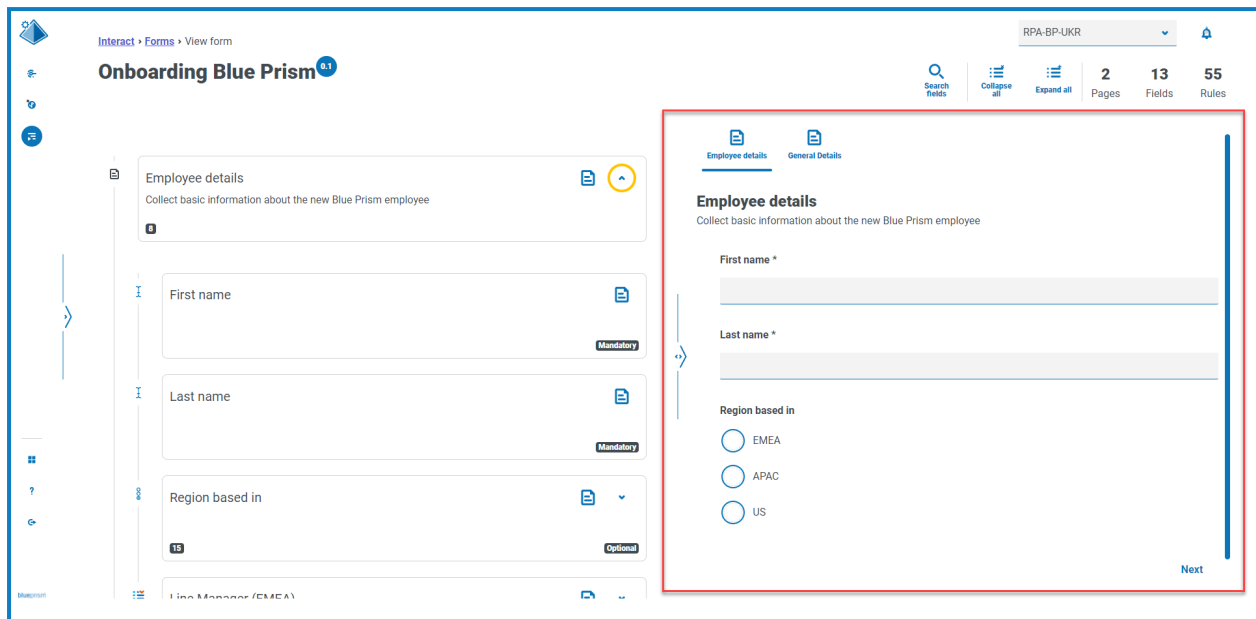
フォームをテストする

[フォームを表示] または [フォームを編集] ページの右側のエリアがテストエリアです。このエリアでは、Interactユーザーに対して表示されるのと同じように表示されます。また、ルールやフィールド制限が設計どおり機能することを確認できます。

フォームをテストするには：

1. [Interactフォーム] ページで、目的のフォームの **オプション** をクリックし、**フォームを表示** または **フォームを編集** をクリックします。
2. フィールドに情報を入力してテストします。

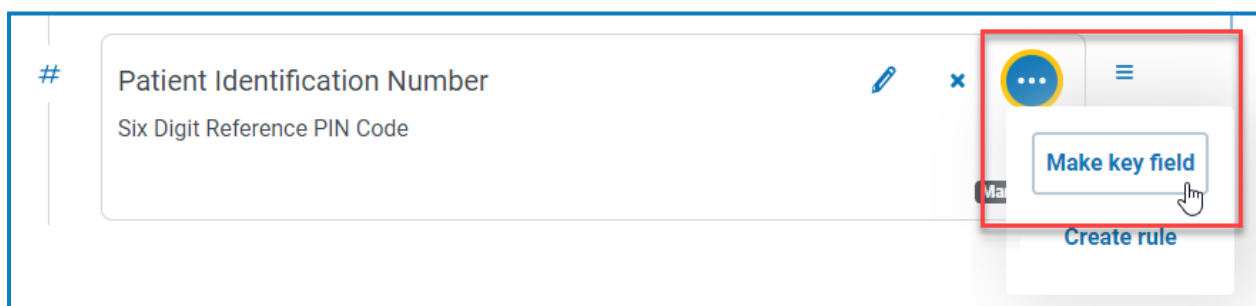
以下の例は、複数ページフォームのテストエリアを示しています。



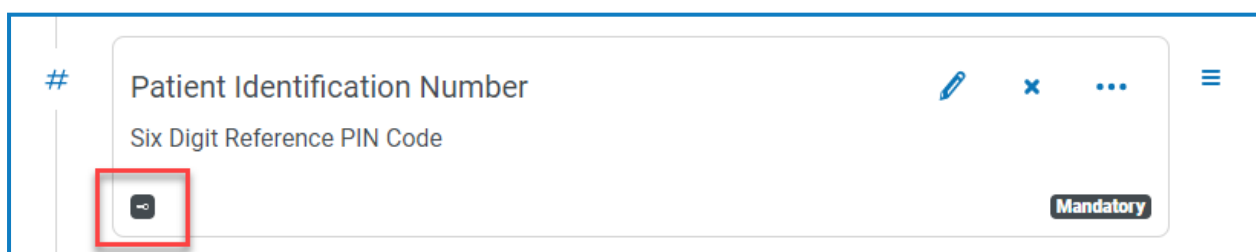
キーフィールド

キーフィールドを使用すると、データがオートメーションを移動するときにデータを簡単に追跡および監査できます。

フォームを作成するとき、省略記号アイコンをクリックし、**キーフィールドを作成**]を選択すると、キーフィールドとして識別するフィールドを1つ選択できます。このオプションは、テキストフィールドタイプまたは番号フィールドタイプのフィールドでのみ使用できます。選択すると、フォームのフィールドタイトルの下にキーが表示されます。たとえば、

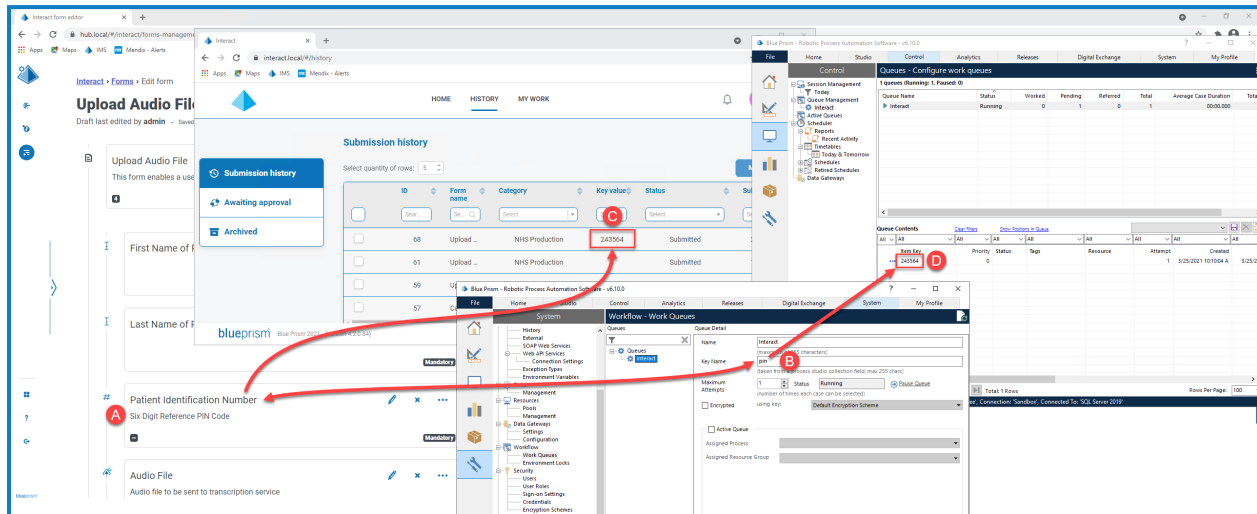


は次のようになります。



別のフィールドで **キーフィールドを作成**]を選択して、キーフィールドを再割り当てできます。省略記号アイコンをクリックして **キー解除**]を選択することで、フィールドからキーを削除することもできます。

キーフィールドは、InteractのフォームからBlue Prismのワークキューによるデータ処理まで、データを追跡するために使用できます。



この例は、以下を示しています。

- フォームは、キーフィールドとして設定された [患者識別番号] というフィールドを使用して作成されています。
- [Blue Prism] > [システムマネージャー] > [ワークフロー] > [ワークキュー] で、ワークキューを構成してキーフィールド情報を検索できます。[キー名] フィールドに、フォームの作成時に使用したオートメーションIDを入力します。上の例では、[患者識別番号] フィールドが次の値を持つ [数値] タイプフィールドとして作成されたため、オートメーションIDはpinです。

Initial state *

Mandatory

Label *

Patient Identification Number

Automation ID *

pin

Blue Prismの [キー名] フィールドに入力された値が、フォームフィールドの [オートメーションID] フィールドに入力された値と一致することが重要です。

- ユーザーがInteractでこのフォームを入力してフォームを送信すると、このフィールドに入力した値がInteractの [送信履歴] ページの [キー値] 列に表示されます。必要に応じて、ユーザーはこの列をフィルタリングして特定の値を検索できます。詳細については、「[Interact ユーザーガイド](#)」を参照してください。
- 情報が処理されると、キー値がBlue Prismワークキューに表示されます。

⚠ [入力時にデータを隠す] または [送信時にデータを消去] を使用するようテキストフィールドが設定されている場合は、入力時にデータがフィールド表示される可能性があるため、キーフィールドとして設定しないでください。

フォームを編集する

必要なフォームの **オプション**] から **フォームを編集**] を選択して、既存のフォームのレイアウトと内容を編集できます。必要に応じて、フィールドとルールを追加または編集できます。詳細については、「[Interactフォームを作成する ページ8](#)」を参照してください。


フォームを編集] オプションが利用できない場合は、次のことを確認します。

- あなたは、フォームが関連付けられているビジネスプロセスのメンバーです。メンバーでない場合は、フォームを編集することはできません。
- フォームが使用するビジネスプロセスはアクティブです。ビジネスプロセスが廃止された場合、フォームを編集することはできません。

フォームの名前と説明、配信方法、アクセス、および承認の設定を編集する場合は、必要なフォームの **オプション**] で **基本情報を編集**] を選択します。フォームが関連付けられているビジネスプロセスを変更することはできません。これらのフィールドの詳細は、「[フォームを追加する ページ9](#)」を参照してください。

フォームを削除する

たとえば、バージョン0.3で使用していた構造に戻すために、バージョン0.4のフォームを削除したり、古いフォームを完全に削除したりするなど、Interactフォームのすべてのバージョンを完全に削除できます。ロックされているフォームは削除できません。

 フォームを削除すると、そのフォームは完全に削除されます。削除したフォームを復元することはできません。

Interactフォームを削除するには:

1. [Interactフォーム] ページで、目的のフォームの横にある **オプション**] をクリックし、 **削除**] をクリックします。そのバージョンを削除することを確認するメッセージが表示されます。
2. **[はい]** をクリックします。
選択したものが以下の場合：
 - フォームのバージョン0.1または0.0の場合は、完全に削除されます。
 - フォームのバージョン0.2以上の場合、そのバージョンが削除され、フォームが以前のバージョンに戻ります。
3. 必要に応じて、フォームが完全に削除されるまでステップ1と2を繰り返します。

検索オプション



Interactフォームでは、以下を検索できます。

- **フォーム** – フィルターを使用。
- **フィールド** – **検索フィールド**] アイコンを使用。

フォームを検索する

1. [Interactフォーム] ページで、 **フィルター**] をクリックして **フィルター**] パネルを開きます。
2. 切り替えを使用して必要なフィルターをオンにし、情報を入力してフォームを見つけます。同時に複数のフィルターを適用できます。

使用可能なフィルターは次のとおりです。

フィルター	説明
フォーム名	フォーム名の全体または一部を入力します。
プロセス名	フォームが関連付けられているビジネスプロセスの正式名または部分名を入力します。
バージョン	検索するフォームのバージョン番号を入力します。  これがフォームの最新バージョンではなく以前のバージョンの場合は、 最新 フィルターをオフにして表示する必要があります。
最新	フォームの最新バージョンまたは以前のバージョンを表示するかどうかを選択します。オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • はい - フォームの最新バージョンのみを表示します。これはデフォルト設定です。 • いいえ - フォームの以前のバージョンのみを表示し、最新バージョンは表示しません。  デフォルトでは、 最新 のフィルターはすでにオンになっています。フォームのすべてのバージョンを表示する場合は、オフにできます。
更新者	ユーザーのユーザー名、またはユーザー名の一部を入力します。
更新日時	日付範囲を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> • 最初のフィールドで、最も早い日付を選択します。 • 2番目のフィールドで、最も遅い日付を選択します。 • 必要に応じて、時間フィールドを調整します。デフォルトで、最初の日付の時刻は00:00:00、最後の日付の時刻は23:59:59になっているため、丸一日が含まれることとなります。 この期間中に更新されたすべてのフォームを表示します。
インポート日時	次のいずれかのオプションを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • はい - インポートされた未編集のフォームのみを表示します。フォームがインポートされ、フォームのマイナーバージョンまたはメジャーバージョンが変更された場合、フォームがインポート済みフォームとして分類されなくなり、表示されません。 • いいえ - インポートされたフォームではなく、他のすべてのフォームを表示します。
インポートされたファイル	ファイル名の全体または一部を入力します。
説明	[フォーム]の説明のテキストに対して検索する用語を入力します。

フィルター	説明
配信方法	ドロップダウンリストから配信方法を選択します。オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • キュー - Blue Prismワークキューを使用するように設定されたフォームを表示します。 • メール - メールを配信方法として使用するよう設定されたフォームを表示します。
キュー名	キュー名の全体または一部を入力します。
メールアドレス	配信方法として使用されるメールアドレス、またはメールアドレスの一部を入力します。
承認	次のいずれかのオプションを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • はい - 承認が必要であると指定されたフォームのみを表示します(フォームの[デフォルトの承認タイプ]フィールドは なし]以外の値に設定されています)。 • いいえ - 承認を必要としないすべてのフォームを表示します。
承認者	ユーザーのユーザー名、またはユーザー名の一部を入力します。
ロック者	ユーザーのユーザー名、またはユーザー名の一部を入力します。
Interact役割	Interact役割の名前、または役割名の一部を入力し、ドロップダウンリストから目的の役割を選択します。

フォームのリストには、入力した情報に一致するフォームが即座に表示されます。



フィルターを設定済みで、フィルタリングされていない情報を再度表示する場合は、必要なフィルターをオフにするか、フィルター内の設定をすべて削除して空白にします。

3. **[ドローを閉じる]**をクリックして、**[フィルター]**パネルを閉じます。

フィールドを検索する

1. **[フォームを編集]**または**[フォームを表示]**ページで、**検索フィールド**をクリックします。**[フィールドを検索]**パネルが表示されます。
2. 必要なフィールドを見つけるのに役立つテキストを入力します。以下を入力できます。
 - フィールドタイプ。たとえば、テキストフィールドには「テキスト」、またはラジオボタンには「ラジオ」。
 - フィールドの名前。
 - フィールドの説明の一部と一致する可能性のあるその他のテキスト。

テキストは、フィールドのタイプ、フィールド名、および説明に対して検索されます。


入力すると、検索フィールドの下のリストに結果が表示されます。入力する文字が多いほど、リストが絞り込まれます。

3. リストの必須フィールドをクリックして、フォームのフィールドに移動します。

フォームをデプロイする

Interactユーザーインターフェイスで使用するためにフォームを作成したら、そのフォームを必要なユーザーが使用できるように、役割に割り当てる必要があります。これを行うには、次の2つの方法があります。

- **フォームの基本情報に役割を設定する** – フォームを編集できる人であれば誰でも設定できます。
- **フォームを直接役割に追加する** – これはHub管理者のみが設定できます。

 フォームのバージョン番号が0.0のままの場合、デプロイしてもInteractには表示されません。Interactでフォームを表示するには、バージョン番号が0.1以降になるようにフォームを保存する必要があります。

フォームに役割を追加する

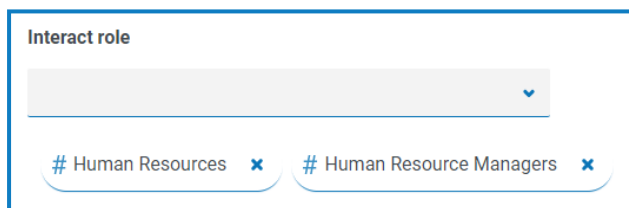
フォームを割り当てるには、Blue Prism Hubに役割が存在している必要があります。新しい役割が必要な場合は、Hub管理者にお問い合わせください。

1. [Interactフォーム] ページで、目的のフォームの横にある **オプション**] をクリックし、 **基本情報を編集**] をクリックします。

基本情報を編集] ページが表示されます。

2. [Interact役割] でフォームを割り当てる役割を選択します。

フィールドの下に役割の名前が表示されます。リストから複数の役割を選択できます。例：



3. **保存**] をクリックしてフォーム情報を更新し、選択した役割にリンクします。

[フォーム] ページが表示されます。これでInteractでその役割のユーザーがフォームを使用できるようになりました。


役割にフォームを追加する

この方法はHubハブ管理者のみが使用できます。

1. プロファイルアイコンをクリックして **設定**] ページを開き、 **役割と許可**] をクリックします。

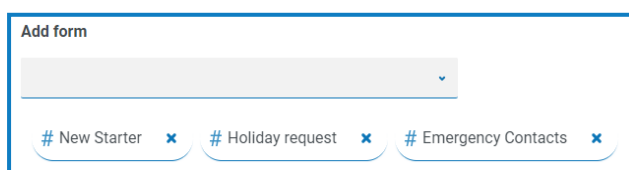
役割と許可] ページが表示されます。

2. フォームを追加する役割を選択し、 **編集**] をクリックします。

 適切な役割がない場合は、新しい役割を作成できます。

3. **フォームを追加**] ドロップダウンリストから、ユーザーの役割がアクセスできるフォームを選択します。

フォームの名前がフィールドの下に表示されます。複数のフォームを選択できます。例：



4. **保存**] をクリックして、役割への変更を保存します。

フォームでキャプチャタイプを使用する

このセクションでは、各キャプチャタイプと、Interactフォーム内のフィールドに入力するデータを制限するために適用できるコントロールについて詳しく説明します。例と構成可能なパラメーターを含む~12種類のキャプチャタイプを以下に示します。

- テキスト
- 数値
- 時間
- 段落
- ドロップダウン
- チェックボックスグループ
- テキスト領域
- Date
- アップロード
- 罫線
- ラジオグループ
- 表

テキスト

ユーザーが正しい情報を正しい形式で入力できるフィールドを作成する必要がある場合は、[テキスト]キャプチャタイプが最適なソリューションです。[テキスト]キャプチャタイプは最も一般的に使用されるフィールドです。データを半角英数字の組み合わせで入力できるため、文字と数字の両方を使用できます。

Create text Reset all Cancel Change type

Define the details of your desired capture field

Mask data on entry

Purge data on submission

Initial state *
Optional

Label *

Automation ID *

Description

150 Characters remaining

Placeholder

Simple
 Regex

Minimum character length

Maximum character length

Allowed characters



Non-allowed characters

Initial value

Create another

Create field

標準的なテキストキャプチャタイプは、以下の表で詳述するフィールドの値を設定することによって制御できる単純な正規表現の使用をサポートします。

フィールド	説明
最小文字数	フィールドに入力できる最小文字数。この値は0より大きくしてください。
最大文字数	フィールドに入力できる最大文字数の合計。設定可能な最大数は50です。
使用できる文字	ユーザーが使用できる文字セット。これは単純な正規表現を使用するため、ユーザーは「[A-F]」と入力すると、AからFまでの文字のみを大文字で入力するよう強制できます。「または」を意味する「 」など、その他の正規表現の一部を入力できます。したがって、「[A-F][a-f]」と入力した場合、ユーザーはAからFまでの文字を大文字または小文字で入力できます。
使用できない文字	これは、 使用できる文字 と非常によく似ています。ここでは、テキストフィールドで使用できない文字を指定できます。たとえば、ユーザーがテキストを入力するときにアンパサンドの使用を制限するには「&」と入力するだけで済みます。
初期値	[初期値]では、フォームにアクセスするときにユーザーに表示される初期値を指定できます。
入力時にデータを隠す	これは、送信する情報が機密情報であり、他の人に画面上のデータを見せたくない場合に重要なオプションです。たとえば、生年月日に関する個人情報は、個人の情報です。したがって、 [入力時にデータを隠す] を選択すると、情報の入力時にドットが表示されます。この情報は、Interactを使用するすべてのユーザーに対してマスクされます。データがBlue Prismに渡されると、Digital Workerは、オートメーションで処理するためのデータを表示できます。  [入力時にデータを隠す] は、テキストフィールド内でのみ使用できます。したがって、数値を送信して送信後に内容を編集する場合は、 数値] フィールドではなく [テキスト] フィールドを入力する必要があります。
送信時にデータを消去	これは、送信される情報が機密情報である場合の重要なオプションです。このオプションを選択した場合、Interactユーザーがこのフィールドに入力したデータはフォームの送信時に削除され、Interactデータベースには保存されません。これらのフィールドに入力された情報は、送信されたフォームのHubの監査ログエントリには表示されません。データはBlue Prismデータベースに保存され、フォームの自動化プロセスの一部として構成される追加のストレージ送信先にも保存されますのみです。 このオプションが設定されているフィールドの場合、情報アイコンがフォームのフィールドの横に、このフィールドの情報が消去されることを示すツールチップとともに表示されます。  Interactの承認者がこのフィールドに入力された情報を表示できないようにするには、 送信時にデータを消去] だけでなく、 [入力時にデータを隠す] を選択します。

または、**[正規表現]**を選択し、より複雑な正規表現を構成することもできます。詳細については、「**正規表現を使用する ページ58**」を参照してください。

テキストフィールドの例

下の例では、このフィールドは必須に設定されており、最小文字数は2文字ですが、入力文字数には最大制限はありません。フィールドは、単純な文字制限を適用することによって大文字に制限されています。

Create text

Define the details of your desired capture field

Mask data on entry

Purge data on submission

Initial state *

Mandatory

Label *

Input Text Field

Automation ID *

input-text-field

Description

An example Input Text Field

123 Characters remaining

Placeholder

Simple

Regex

Minimum character length

2

Maximum character length

Allowed characters

A-Z

Non-allowed characters

Initial value

Create another

Create field

正規表現]機能を使用すると、複雑な制限を作成できます。英国の国民保険番号を例にすると、正規表現を適用して、常に正しい形式で入力されていることを確認できます。そうでない場合は、警告メッセージが表示されます。

Create text

Define the details of your desired capture field

Reset all
 Cancel
 Change type

Mask data on entry

Purge data on submission

Initial state *

Mandatory ▼

Label *

National Insurance Number

Automation ID *

national-insurance-number

Description

National Insurance Number, for example, AA123456C

101 Characters remaining

Placeholder

Simple

Regex

Regex *

```
^[A-CEGHJ-PR-TW-Z]{1}[A-CEGHJ-NPR-TW-Z]{1}[0-9]{6}[A-D]{1}$
```

Validation error message *

Invalid National Insurance Number

Initial value

x Create another

Create field

文字列制限をテストし、フィールドの動作を表示できます。 [フォームを編集] ページの適切なフォームフィールドに、正しいフォーマット番号を入力します。この値は受け入れられ、検証エラーメッセージは表示されません。次に、フィールドをクリアして、誤ったフォーマット番号を入力すると、検証エラーメッセージが表示されます。

National Insurance Number *

National Insurance Number, for example, AA123456C

AA987654D

National Insurance Number *

Invalid National Insurance Number

AA987654K

テキスト領域

「テキスト領域」キャプチャタイプには、テキストキャプチャタイプと同じ多くの機能がありますが、ユーザーは、最大3,500文字の複数行のテキストとして大量の情報を入力できます。データを半角英数字の組み合わせで入力できるため、文字と数字の両方を使用できます。

デフォルトでは、テキストキャプチャタイプは、以下の表で詳述するフィールドの値を設定することによって制御できる単純な正規表現を使用します。

フィールド	説明
最小文字数	フィールドに入力できる最小文字数。この値は0より大きくしてください。
最大文字数	フィールドに入力できる最大文字数の合計。設定できる最大数は3,500です。
使用できる文字	ユーザーが使用できる文字セット。これは単純な正規表現を使用するため、ユーザーは「[A-F]」と入力すると、AからFまでの文字のみを大文字で入力するよう強制できます。「または」を意味する「 」など、その他の正規表現の一部を入力できます。したがって、「[A-F][a-f]」と入力した場合、ユーザーはAからFまでの文字を大文字または小文字で入力できます。
使用できない文字	これは、 使用できる文字 と非常によく似ています。ここでは、テキストフィールドで使用できない文字を指定できます。たとえば、ユーザーがテキストを入力するときにアンパサンドの使用を制限するには「&」と入力するだけで済みます。
初期値	「初期値」では、フォームにアクセスするときにユーザーに表示される初期値を指定できます。

または、**正規表現**を選択し、より複雑な正規表現を構成することもできます。詳細については、「**正規表現を使用する ページ58**」を参照してください。

テキスト領域フィールドの例

次の例では、フィールドはオプションに設定されていますが、それ以上の制限はありません。

Create text area

Define the details of your desired capture field

Initial state *
Optional

Label *
Description

Automation ID *
description

Description
Enter some information about your role and responsibilities.
90 Characters remaining

Placeholder

Simple
 Regex

Minimum character length

Maximum character length

Allowed characters

Non-allowed characters

Initial value
3500 Characters remaining

この例を、テキストフィールドとともに次に示します。[テキスト]フィールドは、ユーザーの役割または役職をキャプチャするために使用されます。また、[テキスト]領域フィールドを使用して、ユーザーの役割と責任に関する情報を入力できます。


Job title
Enter your job title

Description
Enter some information about your role and responsibilities.

数値

数値キャプチャタイプには、ユーザーがデータを入力する方法やデータの表示方法を制御する多数の機能があります。

数値]フィールドでは、入力には数字のみに制限されます。このフィールドでは、小数点としてピリオドまたはフルストップの「.」が、千の区切り記号としてカンマ「,」が使用できます。数値が会計数値の場合、接頭語を使用して、該当する通貨記号を適用できます。また、**カンマの表示**]オプションを選択すると、数字入力時にカンマ「,」の使用を強制できます。最後に必要に応じて、最小値や最大値を数値に割り当てることができます。

 複数の国では、小数点ではなくカンマを区切り記号として使用します。これが必要な場合は、数値]フィールドではなく [テキスト]フィールドを使用して、該当する形式を定義することを推奨します。

Create number

Define the details of your desired capture field

[Reset all](#) [Cancel](#) [Change type](#)

Initial state *
Optional

Label *

Automation ID *

Description

150 Characters remaining

Placeholder

Prefix character

Only allow whole numbers

Decimal point place

Show commas

Minimum value


Maximum value

Step

Initial value

Create another

Create field

フィールド	説明
プレフィックス文字	<p>フォーム表示にプレフィックス文字を追加します。これは、金額を入力する場合に便利です。</p> <p> プレフィックス文字は、自動化には送信されません。</p> <div data-bbox="331 398 965 548"><p>Prefix character</p><input type="text" value="£"/></div>
整数のみを許可	ユーザーがデータフィールドに整数のみを入力するよう制限します。
小数点位置	入力するデータの小数点以下の桁数を指定します。小数点第15位まで入力できます。
カンマを表示	数値が千を超えるたびにカンマを入力します。 これは、単位が千から小数点までの区切り文字としてカンマを使用する英国の書式です (£25,000など)。ヨーロッパには、カンマと小数点が入れ替わる国も一部あります。
最小値	ユーザーがフィールドに入力する数値の最小値を設定します。
最大値	ユーザーがフィールドに入力する数値の最大値を設定します。
ステップ	ステップ値を定義します。データ入力フィールドに「矢印」とともに入力し、ユーザーが「矢印」を切り替えると、定義されたステップで数字が強制的にステップします。
初期値	フィールドの数値の初期値を設定します。

数値フィールドの例

以下の例では、給与フィールドの作成に「数値」フィールドを使用します。これは給与をキャプチャし、「£」記号を先頭に付け、千の区切り記号としてカンマを適用することを強制します。この例では、プレースホルダーも定義されています。プレースホルダーには、入力前にフィールドに灰色のテキストが表示され、代表的な値を表示することができます。

特定の正規表現を数値に適用する場合は、「テキスト」フィールドをする必要があります。これにより、必要な形式が強制されます。たとえば、次の正規表現は、英国の携帯電話番号が正しく入力されていることをチェックします。


```
^07([\d]{3})[(\D\s)]?[\d]{3}[(\D\s)]?[\d]{3}$
```

日付

日付キャプチャタイプには、ユーザーがデータを入力する方法やデータの表示方法を制御する多数の機能があります。以下の空白のフォームには、使用可能なオプションが表示されます。

フィールド	説明
日付形式	<p>日付の形式を定義します。使用できるオプションは3つあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 米国形式 - MM/DD/YYYY • 英国形式 - DD/MM/YYYY • 国際形式 - YYYY/MM/DD
日付を許可	<p>過去の日付のみを許可するか、将来の日付のみを許可するか、任意の日付を許可するかを制御します。たとえば、生年月日を入力する場合、必要な日付は過去の日付のみであり、将来の日付は不要です。</p>

フィールド	説明
初期値	<p>ドロップダウンメニューには、[なし]、[今日]、[今日+]、[今日-]、[カスタム日付]の5つのオプションがあります。</p> <p>[初期値]の設定は必須です。制限がない場合は、[なし]に設定できます。ただし、初期値を[今日]または[今日+日数]または[今日-日数]に制限することもできます。したがって、初期値を2週間前に設定するには、[今日-]と入力し、新しいフィールドに「14」と入力します。</p> <div data-bbox="331 510 963 801" style="border: 1px solid #0070C0; padding: 5px;"> <p>Initial value *</p> <p>Today -</p> <p>Days from today's date *</p> <p>14</p> </div> <p>初期値として日付を指定できない場合は、[カスタム日付]を選択し、20世紀の最終日など、特定の日付を指定できます。</p> <div data-bbox="331 913 963 1211" style="border: 1px solid #0070C0; padding: 5px;"> <p>Initial value *</p> <p>Custom date</p> <p>Custom date *</p> <p>12/31/1999</p> </div>
過去の日付の制限	<p>フォームのユーザーがアクセスできる日付のウィンドウを作成できます。たとえば、14日を設定すると、ユーザーがアクセスできる過去14日間のみのウィンドウが作成されます。</p>
未来の日付の制限	<p>フォームのユーザーがアクセスできる日付のウィンドウを作成できます。たとえば、14日を設定すると、ユーザーがアクセスできる今後14日間のみのウィンドウが作成されます。</p>

 [今日-]または[今日+]とともに [過去の日付の制限]または[未来の日付の制限]フィールドを使用する場合、日付制限には合計日数を含める必要があります。これは、ウィンドウの日数と過去または将来の日数です。

日付フィールドの例

以下の例は、新入社員の入社フォームで使用できる日付フィールドを示しています。例では、日付形式をDD/MM/YYYYに指定しますが、MM/DD/YYYYまたはYYYY/MM/DDの2つのオプションがあります。日付が表示される形式を示すプレースホルダーが入力されており、日付の検索は今日の日付以降の日付のみに制限されています。[今日-]が [初期値]として選択されている場合、 [今日の日付以前の日数]に数値を入力できます。これによりカレンダーがこの日数分だけ過去から開始するように制限されます。また、 [過去の日付の制限]または [未来の日付の制限]フィールドを使用すると、フォームのユーザーがアクセスできる日付に「ウィンドウ」を作成できます。たとえば、14日を設定すると、ユーザーがアクセスできるウィンドウは14日のみになります。

Create date

Define the details of your desired capture field

[Reset all](#) [Cancel](#) [Change type](#)

Initial state *
Optional

Label *
Start Date

Automation ID *
start-date

Description
Start date for the new starter
120 Characters remaining

Date format *
DD/MM/YYYY

Placeholder
DD/MM/YYYY

Allow dates
 Any
 Only past
 Only future

Past date restriction
[Text input]

Future date restriction
[Dropdown menu]

Initial value *
Today

Create another

[Create field](#)

出力を確認する場合、ポップアップカレンダーが表示され、必要な日付を選択できます。

Start Date
Start date for the new starter

18/03/2021

March 2021							April 2021						
Mo	Tu	We	Th	Fr	Sa	Su	Mo	Tu	We	Th	Fr	Sa	Su
1	2	3	4	5	6	7			1	2	3	4	
8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11
15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18
22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25
29	30	31					26	27	28	29	30		

← →

時間

時間フィールドのユーザー入力を制御するために使用できるフィールドは、初期値用の1つのみです。このフィールドは、表示のデフォルト値を設定するもので、ユーザーは必要に応じて変更できます。下図を参照してください。

Create time

Define the details of your desired capture field

Reset all Cancel Change type

Initial state *

Optional

Label *

Automation ID *

Description

150 Characters remaining

Initial value

00:00:00

Create another

Create field

時間フィールドの例

下の例は、[時間]フィールドキャプチャのプロパティとフォーム内の表示例を示しています。

Create time

Define the details of your desired capture field

[Reset all](#) [Cancel](#) [Change type](#)

Initial state *
Optional

Label *
Start Time

Automation ID *
start-time

Description
Enter the start time for the new starter
110 Characters remaining

Initial value
09:00:00

Create another

Create field

Start Time

Enter the start time for the new starter

09:00:00


09	00	00
10	01	01
11	02	02
12	03	03
13	04	04
14	05	05
15	06	06

アップロード

[アップロード] キャプチャタイプでは、ファイルまたはイメージを解析して自動化し、さらに処理することができます。転送は、.exeファイル拡張子を持つ実行可能ファイル以外の形式用です。ファイルは「blob」ストレージに保存され、Blue Prismキューに送信されるコレクションにURLが含まれます。

[アップロード] フィールドには、アップロードされるファイルの拡張子である1つの制御要素、**[入力タイプ]**しかありません。もし、

- **[画像]** がファイルタイプとして選択されている場合は、JPG、PNG、GIFのいずれか1～3つのファイルタイプを選択できます。
- **[ファイル]** を選択し、フォームでサポートする拡張子のリストを追加できます。これらは、先頭の「.」なしで追加し、カンマで区切る必要があります。「.exe」拡張子付きの実行可能ファイルをロードすることはできません。

 デフォルトでは、ファイルの最大アップロードサイズは5Mbで、画像サイズは1920 x 1080pxに制限されています。

システム管理者は、サーバー上のHub構成ファイルで定義された値を変更することによって、最大サイズを増やすことができます。[アップロードを作成] ページの **最大サイズ** フィールドで指定した値は、構成ファイルで定義されている値より大きくすることはできません(デフォルトでは5)。

アップロード]フィールドの例

Interactユーザーが新入社員の履歴書をアップロードできる「アップロード」フィールドの例を以下に示します。アップロードするドキュメントは、PDF、Microsoft Word、またはテキスト形式で作成できます。

Create upload Reset all Cancel Change type

Define the details of your desired capture field

Initial state *
Mandatory

Label *
Load CV

Automation ID *
load-cv

Description
Upload the CV of the new starter
118 Characters remaining

Input type
 File
 Image

Accepted extensions (comma separated) *
pdf, doc, docx, txt

Max size (MB) *
5

Create another

Create field

許可される拡張子は、ピリオドまたはフルストップ「.」なしで入力する必要があります。

要求を送信すると、フォームに次の内容が表示されます。

Load CV *
Upload the CV of the new starter

Upload

段落

段落キャプチャタイプを使用すると、Interactユーザーが正しい情報を正しい形式で送信するのをサポートするための情報を提供し、書式設定されたテキストをフォームに追加できます。書式設定手法を使用して、テキストを太字、下線、斜体、強調表示にしてテキストの重要な部分を強調できます。また、テキストにハイパーリンクを追加することもできます。

段落は最初は非表示状態で展開できます。その後、Digital Workerがオートメーションでフォームを更新した際に、ルール条件が満たされたか更新されたかによってのみ表示されます。

段落要素は500文字に制限されています。

書式設定のオプションは次のとおりです。

B	太字 – 必要なテキストを選択し、このアイコンをクリックします。テキストは 太字 で表示されます。
/	斜体 – 必要なテキストを選択し、このアイコンをクリックします。テキストは 斜体 で表示されます。
U	下線 – 必要なテキストを選択し、このアイコンをクリックします。 <u>下線付き</u> のテキストが表示されます。
—	ハイライト – 必要なテキストを選択し、このアイコンをクリックします。 黄色でハイライト されたテキストが表示されます。
A	テキストの色 – 必要なテキストを選択し、このアイコンをクリックして、パレットから必要な色を選択します。または、すべてのテキストを異なる色にする場合は、入力する前に色を選択します。
🔗	リンク – 必要なテキストを選択し、このアイコンをクリックします。[リンクを追加]ダイアログでURLを入力し、 保存 をクリックします。リンクがテキストに追加されます。マウスカーソルをテキストの上に移動すると、テキストは下線付きで表示され、リンクが存在することを示します。
🔗	リンクを解除 – リンクが適用されている必要なテキストを選択し、このアイコンをクリックします。リンクが削除されます。

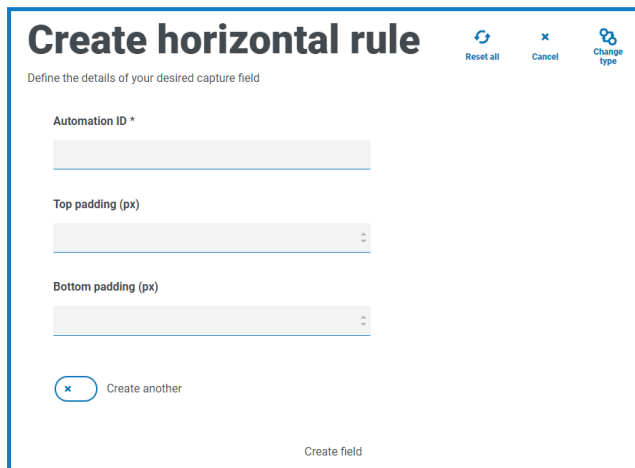
段落]フィールドの例

フォーム上のテキストの例を以下に示します。

To use this form, the **USER** need to supply the following information: **First Name**, **Family Name**, Curriculum Vitae, Qualifications and **National Insurance Number**. Items marked in **BOLD** are mandatory items that must be supplied before the form can be submitted. For more information, [click here](#).

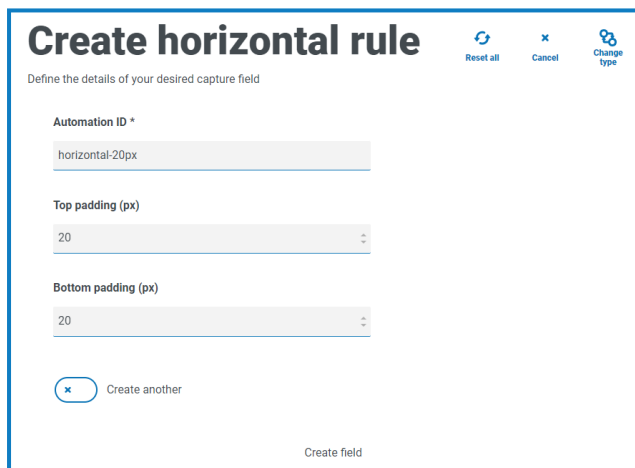
罫線

罫線キャプチャタイプは、フォームをセクションに分割することにより、大きなページをフォームに分割するという外観上の目的で使用され、その見やすさを向上させます。線は前後のスペースを制御するために延長することができ、線の両側に最大999pxのスペースがあります。



罫線]フィールドの例

以下の例は、罫線のパディング設定と、[段落]フィールドの例の下にそれがどのように表示されるかを示しています。



This form is the **New Starter** form. The form will take the information provided and, using an automation, will set the new starter up within the Payroll System. The automation will then email the new starter with their payroll number.




ドロップダウン

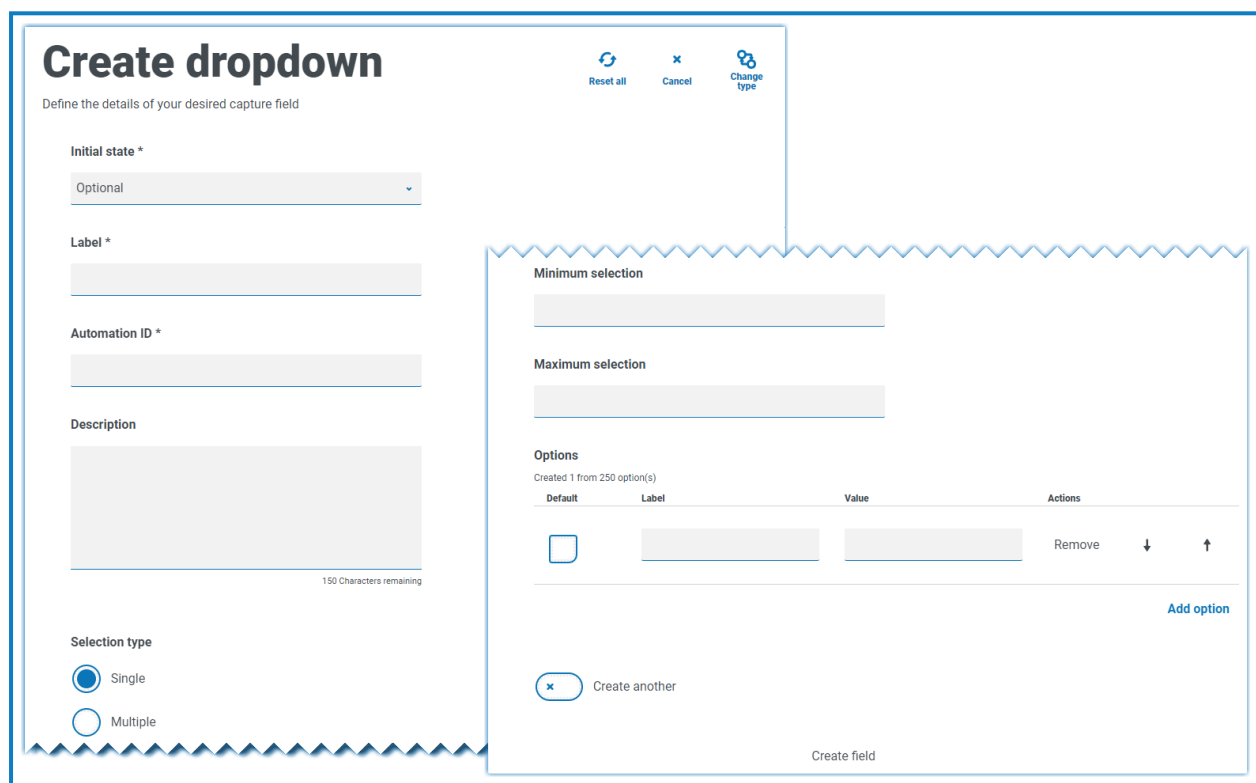
ドロップダウンキャプチャタイプでは、Interactユーザーが単一または複数のアイテムを選択できるドロップダウンメニューを設定できます。

単一の

- 単一選択の場合、リストが提供され、ユーザーはリストから1つのアイテムを選択できます。
- 複数選択の場合、ユーザーは任意のアイテム数、最小アイテム数、または最大アイテム数のいずれかを選択できます。これは、**最小選択**]フィールドと**最大選択**]フィールドで構成された値によって異なります。

 ドロップダウンに表示されるアイテムのリストを定義する際に、間違った順序でアイテムを入力した場合は、右側の矢印を使用してリストを並べ替えることができます。

[ドロップダウン]フィールドには、最大250個のアイテムを追加できます。



フィールド	説明
最小選択	ユーザーがフォームのドロップダウンリストから選択できるアイテムの最小数。 選択タイプ]が 単一]に設定されている場合、このフィールドは関係ありません。
最大選択	ユーザーがフォームのドロップダウンリストから選択できるアイテムの最大数。設定可能な最大数に制限はありません。値が設定されていない場合、ユーザーはリスト内のすべてのアイテムを選択できます。 選択タイプ]が 単一]に設定されている場合、このフィールドは関係ありません。
オプション - デフォルト	ドロップダウンフィールドのデフォルト値にする場合は、 デフォルト]ボックスを選択します。
オプション - ラベル	ドロップダウンリストに表示されるテキスト。ラベルは50文字に制限されています。

フィールド	説明
オプション - 値	ドロップダウン項目に関連付けられた値。これはラベルと異なる場合があります。値は50文字に制限されています。
オプション - 削除	必要に応じて、 削除 をクリックしてリストからアイテムを削除します。

ラジオグループフィールドと**チェックボックスグループ**フィールドは、1つまたは複数のアイテムの選択である**ドロップダウン**フィールドと同様の機能を実現します。ただし、フォームの面積が限られている場合、特にアイテムが大量にある場合は、ドロップダウンが推奨手段になります。選択するアイテムが少数で、フォーム全体のサイズが重要でない場合、ラジオグループまたはチェックボックスグループのいずれかのフィールドを使用できます。

ドロップダウン]フィールドの例

以下は、単一選択ドロップダウンフィールドの構成の例です。

これにより、ユーザーがアクセスするフォームに次の要素が作成されます。

複数選択のドロップダウンを作成した場合、ユーザーが最小または最大アイテム数を選択する必要があるかどうかの制限を適用できます。

Default	Label	Value	Actions
<input type="checkbox"/>	GCSE	gcse	Remove ↓ ↑
<input type="checkbox"/>	A Level	a-level	Remove ↓ ↑
<input type="checkbox"/>	HND/HNC	hndhnc	Remove ↓ ↑

ドロップダウンリストからアイテムを選択すると、フォームのフィールドの下にアイテムが表示されます。誤って選択されたアイテムは、アイテムの横にある「x」を選択することで削除できます。

Education Qualifications *
Select all education qualifications that apply

HND/HNC

Degree

Masters

PhD

Education Qualifications *
Select all education qualifications that apply

GCSE x # A level x # Degree x

ラジオグループ

ドロップダウンのようなラジオグループキャプチャタイプでは、Interactユーザーは1つのアイテムを選択できます。このキャプチャタイプでは、複数のエントリを選択することはできません。[ラジオグループ]フィールドは、フォーム上でより多くの面積を使用するため、選択すべきアイテムが多数ある場合は、ドロップダウンがより良い解決策となる場合があります。

選択したアイテムをリストに追加することによってユーザーの表示内容を制御し、必要に応じてデフォルト値を選択できます。

ラジオグループには、最大10アイテムまで追加できます。

フィールドとその制限の詳細については、「[ドロップダウン ページ48](#)」を参照してください。

フォームがInteractに展開されると、ラジオグループのボタンは【[テスト領域](#)】に表示されるものとは視覚的に異なる方法で表示されます。Interact Webサイト内の水平ボタンバーとして表示されます。例：

ラジオグループの例

以下の例は、ユーザーが3つのオプションのいずれかを選択する必要があるラジオグループを示しています。

Create radio group

Define the details of your desired capture field

Reset all Cancel Change type

Initial state *
Mandatory

Label *
Gender

Automation ID *
gender

Description
The gender of the new starter
114 Characters remaining

Default	Label	Value	Actions
<input type="checkbox"/>	Male	male	Remove ↓ ↑
<input type="checkbox"/>	Female	female	Remove ↓ ↑
<input type="checkbox"/>	Not specified	not-specified	Remove ↓ ↑

Add option

Create another

Create field

Gender *
The gender of the new starter

Male

Female

Not specified

チェックボックスグループ

チェックボックスグループを構成するときには使用できるオプションは、**ドロップダウン**と同じです。チェックボックスグループは、単一選択または複数の選択を許可するように構成できます。同様に、**最小選択**と**最大選択**の値を使用して、選択できるアイテムの数を設定できます。チェックボックスグループには、ユーザーがリストをスクロールする**ドロップダウン**フィールドとは異なり、すべてのアイテムが表示されます。

チェックボックスグループには、最大10アイテムまで追加できます。

Create checkbox group

Define the details of your desired capture field

Reset all Cancel Change type

Initial state *
Optional

Label *
[Input field]

Automation ID *
[Input field]

Description
[Text area]
150 Characters remaining

Selection type
 Single
 Multiple

Minimum selection
[Input field]

Maximum selection
[Input field]

Options
Created 1 from 10 option(s)

Default	Label	Value	Actions
<input type="checkbox"/>	[Input field]	[Input field]	Remove ↓ ↑

Add option

Create another

Create field

フィールドとその制限の詳細については、「[ドロップダウン ページ48](#)」を参照してください。

チェックボックスグループの例

下の例は、ユーザーが選択できる6つのオプションがあるチェックボックスグループを示しています。ただし、フィールドが単一選択タイプとして残されている場合、ユーザーは1つのアイテムのみを選択できます。これは、[ラジオグループ]フィールドと同じ機能ですが、表示は異なります。

Create checkbox group

Define the details of your desired capture field

[Reset all](#) [Cancel](#) [Change type](#)

Initial state *
Mandatory

Label *
Education Qualifications

Automation ID *
education-qualifications

Description
Select all education qualifications that apply
104 Characters remaining

Selection type
 Single
 Multiple

Minimum selection
[Input field]

Maximum selection
[Input field]

Options
Created 7 from 10 option(s)

Default	Label	Value	Actions
<input type="checkbox"/>	GCSE	gcse	Remove ↓ ↑
<input type="checkbox"/>	A Level	a-level	Remove ↓ ↑
<input type="checkbox"/>	HND/HNC	hndhnc	Remove ↓ ↑

[Add option](#)

[x](#) Create another

Create field

Education Qualifications *
Select all education qualifications that apply

- GCSE
- A Level
- HND/HNC
- BTEC
- Degree
- Master
- PhD

複数選択タイプが選択されている場合、ユーザーは表示から複数のアイテムを選択できます。ただし、最小と最大の選択値を設定することによって、選択する数を制限できます。

Create checkbox group

Define the details of your desired capture field

Initial state *
Mandatory

Label *
Education Qualifications

Automation ID *
education-qualifications

Description
Select all education qualifications that apply
104 Characters remaining

Selection type
 Single
 Multiple

Minimum selection
1

Maximum selection
4

Options
Created 7 from 10 option(s)

Default	Label	Value	Actions
<input type="checkbox"/>	GCSE	gcse	Remove ↓ ↑
<input type="checkbox"/>	A Level	a-level	Remove ↓ ↑
<input type="checkbox"/>	HND/HNC	hndhnc	Remove ↓ ↑

Education Qualifications *

Select all education qualifications that apply

- GCSE
- A Level
- HND/HNC
- BTEC
- Degree
- Master
- PhD

表

表]キャプチャタイプでは、データの収集に使用できるフォームに表を入力できます。Interactユーザーに表示されるテーブルの行数を制御し、必要な列数を作成して列見出しを割り当てることができます。1つのテーブルに最大15列まで追加できます。ユーザーは表要素の設定での制御に従って、テーブルに行を追加または削除できます。

初期行数、最小行数、最大行数を設定できます。

Create table

Define the details of your desired capture field

Reset all Cancel Change type

Initial state *
Optional

Label *

Automation ID *

Description
150 Characters remaining

Initial row count

Minimum number of rows

Maximum number of rows

Columns
Created 1 from 15 column(s)

Allow empty value	Label	Value	Actions
<input type="checkbox"/>			Remove ↓ ↑

Add column

Create another

Create field

テーブルの例

この例では、教育資格が収集されており、ユーザーは適切なレベルの資格をフィールドに入力する必要があります。この例では、3行を最初の行数として表を定義します。ユーザーが設定できる最大行数は12行です。以下が表示されます。

Create table

Define the details of your desired capture field

Reset all
Cancel
Change type

Initial state *

Optional

Label *

Education Qualifications

Automation ID *

education-qualifications

Description

Please detail the educational qualifications in the table below

87 Characters remaining

Initial row count

3

Minimum number of rows

Maximum number of rows

12

Columns

Created 7 from 15 column(s)

Allow empty value	Label	Value	Actions
<input type="checkbox"/>	GCSE	gcse	Remove ↓ ↑
<input type="checkbox"/>	A Level	a-level	Remove ↓ ↑
<input type="checkbox"/>	HND/HNC	hndhnc	Remove ↓ ↑

Add column

Create another

Create field

Education Qualifications

Please detail the educational qualifications in the table below

GCSE	A Level	HND/HNC	BTEC	Degree	Masters	PhD	Actions
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	Remove
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	Remove
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	Remove

Add row


初期状態の使用が重要です。表]フィールドを必須状態に設定し、6列×3行のテーブルを指定した場合、ユーザーはリクエストを送信する前に、表内のすべてのセルに値を入力する必要があります。これは必須条件ですが、ほとんどの表]フィールドでは、オプションの状態を使用することを推奨します。ただし、必須状態を列の設定と組み合わせて使用すると、列内の値を空白または空にすることができます。これは、空白値を許可する列の横の **空白値を許可]**を選択して実行します。

正規表現を使用する

正規表現 (regex) を使用すると、ユーザーがInteractフォームに入力するデータを制御できます。

Interactフォームを作成する場合、多くの場合、ユーザーが入力できる項目 (国民保険や社会保障番号など) を制限するためにデータフィールドを制御する必要があります。データ入力を制限すると、必要な情報を正しい形式で入力できるようになります。

フォームデザイナーで **正規表現** オプションを選択すると、表示されるデータの構造をプログラムできます。

 **テキスト** キャプチャタイプおよび**テキスト領域** キャプチャタイプのみが、完全な正規表現機能を提供します。その他のキャプチャタイプには、データ入力を制御するその他のシンプルな制限があります。

次の表は、**正規表現** フィールドで使用できる一般的な文字と、実行されるマッチングの例を示します。

フィールド	内容	例	一致
^	行の先頭に一致する	これは正規表現の入力の開始点を示すものです	
\$	行の末尾に一致する	これは正規表現の入力の終了点を示すものです	
.	任意の文字に一致する	^a.c\$	abc、a2c、axc
	OR(または)	^abc xyz\$	abcまたはxyz
[...]	括弧内に含まれるものと一致する	^[A-E]\$	大文字のA～Eのみ使用可能
[^...]	括弧内に含まれないものと一致する	^[^A-E]\$	大文字のA～Eは使用不可
{x}	一致回数が正確に「x」	^[A-E]{2}\$	大文字のA～Eのみを使用できます。少なくとも2文字を含む必要があります
{x,y}	一致回数が「x」～「y」	^[A-E]{2,4}\$	大文字のA～Eのみを使用できます。少なくとも2文字を含み4文字を超えることはできません
{x,}	一致回数が「x」以上	^[A-E]{2,}\$	大文字のA～Eのみを使用できます。少なくとも2文字を含む必要がありますが合計数は無制限です
+	「+」の前の文字の一致回数が1回以上	^ab+c\$	abcまたはabbbcに一致
?	「?」の前の文字の一致回数が1回以下	^ab?c\$	acまたはabcに一致
!	使用できない文字の一致を切り替える	^(?!000)[0-8][0-9]{2}\$	001から899の3桁は許容されますが、000という特定の数字は許容されません

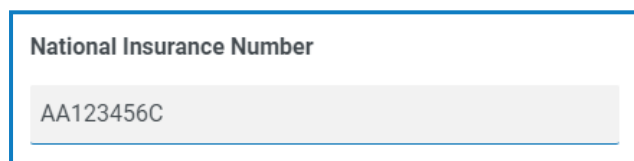
例：国民保険番号

`^[A-CEGHJ-PR-TW-Z]{1}[A-CEGHJ-NPR-TW-Z]{1}[0-9]{6}[A-D]{1}$`

以下はこの正規表現の説明です

- `^`は文字列の開始を意味します
- `[A-CEGHJ-PR-TW-Z]{1}`は最初の文字に一致します。D、F、I、Q、U、またはVにすることはできません
- `[A-CEGHJ-NPR-TW-Z]{1}`は2番目の文字に一致します。D、F、I、O、Q、U、またはVにすることはできません
- `[0-9]{6}`は6桁でなければなりません
- `[A-D]{1}`は、最後の文字 (A、B、C、またはDのみ) に一致します
- `$`は文字列の終了を意味します

次の図は、有効な国民保険番号です。



A screenshot of a form field labeled "National Insurance Number". The input field contains the text "AA123456C". The field is outlined in blue and has a light gray background.

次の図は、無効な国民保険番号です。



A screenshot of a form field labeled "National Insurance Number". The input field contains the text "DA123456C". Above the input field, there is an error message: "Invalid National Insurance Number entered." The field is outlined in blue and has a light gray background. The error message is in orange text.

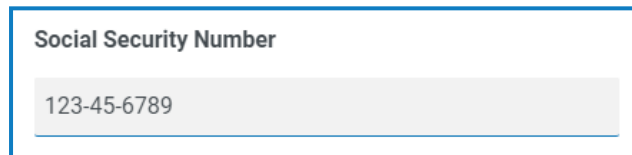
社会保障番号の例

$\wedge(?!000|666)[0-8][0-9]{2}-(?!00)[0-9]{2}-(?!0000)[0-9]{4}\$$

以下はこの正規表現の説明です

- \wedge - 文字列の開始を意味します
- $(?!000|666)$ - 000または666は入力できません
- $[0-8][0-9]{2}$ - 最初の桁は0~8、次の2つの桁は00~99に一致します
- $-$ - ユーザーはハイフンを区切り文字として入力する必要があります
- $(?!00)[0-9]{2}$ - 2つの桁が01~99に一致しますが、00は許容されません
- $-$ - ユーザーはハイフンを区切り文字として入力する必要があります
- $(?!0000)[0-9]{4}$ - 4つの桁が0001~9999に一致しますが、0000は許容されません
- $\$$ - 文字列の終了を意味します

次の図は、有効な社会保障番号です。



A screenshot of a web form titled "Social Security Number". The input field contains the text "123-45-6789". The field is highlighted with a blue border.

次の図は、無効な社会保障番号です。



A screenshot of a web form titled "Social Security Number". The input field contains the text "000-45-6789". Above the input field, there is an error message: "Invalid Social Security Number entered." The input field is highlighted with a blue border and a red wavy underline.

例：英国の携帯電話番号

`^07([\d]{3})([\D\s]?[\d]{3}[\D\s]?[\d]{3})$`

以下はこの正規表現の説明です。

- `^` - 文字列の開始を意味します
- `07` - この2文字で始める必要があります
- `([\d]{3})` - 3桁である必要があります
- `[\D\s]?` - オプションのスペース
- `([\d]{3})` - 3桁である必要があります
- `[\D\s]?` - オプションのスペース
- `([\d]{3})` - 3桁である必要があります
- `$` - 文字列の終了を意味します

これは、有効な英国の携帯電話番号です。

Mobile

Enter your mobile number

または

Mobile

Enter your mobile number

これは、無効な英国の携帯電話番号です。

Mobile

Invalid mobile number. Please check and re-enter.

ルールを使用する

ルールにより、特定の条件を満たすかどうかに応じて、フォームのフィールドやページを操作するためのシンプルなif-then構造を作成できます。たとえば、満たされている特定の条件に応じて、フィールドまたはページを非表示または表示できます。

ルールの例

ルールの使用例を最もよく説明するために、オンボーディングプロセスを網羅するInteractフォームを例として示します。Interactでどのように使用できるかを示すために、いくつかの簡単なルールを定義しました。フォームは次のように表示されます。

The screenshot displays the 'HR Onboarding' form interface. On the left is a drag-and-drop builder, and on the right is the rendered form. The 'Employee details' section includes fields for First Name, Last Name, Date of Birth, Office Location, National Insurance Number, and Social Security Number. Two rules are defined in the builder:

- Rule 1: If 'Office Location' equals 'United Kingdom' then 'Social Security Number' state is 'hidden'
- Rule 2: If 'Office Location' equals 'United States' then 'National Insurance Number' st... See more

最初のルール例は、ユーザーが表示できるフィールドまたはページの制御です。標準のHubユーザー管理を通じてユーザーにフォームへのアクセス権を付与する場合でも、ユーザーがアクセスできない特定のフィールドを非表示にできるようにします。

以下の例では、マリオン・スミスはフォームへのアクセス権を持っていますが、給与明細フィールドにアクセスすることはできません。これにより、マリオンは新規採用者に対して給与明細を追加することはできませんが、フォームの他のユーザーは追加できます。

If 'Submitter'

Cancel

Condition *

is

Value *

Type to find another one

Marion Smith

Then

Elements group *

Fields

Pages

Default elements

Field *

Payroll Details

Condition *

state is

State *

hidden

Create another

Create rule

2番目の例は、おそらくルールの最も一般的な使用例です。フォームには、新しい採用者が英国または米国のどちらを拠点としているかをユーザーが選択できるフィールドがあります。英国]を選択した場合は国民保険番号を入力し、ユーザーが [米国]を選択した場合は社会保障番号が表示されます。

これには2つのルールが必要です。最初にフィールドを非表示にすることができないため、選択したオプションに応じてフィールドを「非表示」にする必要があります。2つのルールを以下に示します。

If 'Office Location'

Condition *

equals

Value *

United Kingdom

Then

Elements group *

Fields

Pages

Default elements

Field *

Social Security Number

Condition *

state is

State *

hidden

Create another Create rule

If 'Office Location'

Condition *

equals

Value *

United States

Then

Elements group *

Fields

Pages

Default elements

Field *

National Insurance Number

Condition *

state is

State *

hidden

Create another Create rule

最初のルールではオフィスの場所が英国に設定されている場合は社会保障番号を非表示にしますが、2番目のルールはその逆で、米国が選択されると国民保険番号が非表示になります。

また、ユーザーエラーが発生した場合にフィールドを再表示するルールの追加も検討する必要があります。たとえば、ユーザーが間違ったオプションを誤って選択した後に正しいオプションを選択した場合はどうなるでしょうか。これら2つのルールのみが定義されている場合、両方のフィールドが非表示になります。非表示のフィールドが再表示されるように指定するものがないためです。したがって、次の2つのルールを追加する必要があります。

- [オフィス所在地]が「英国」と等しい場合、[国民保険番号]の状態は「オプション」です。
- [オフィス所在地]が「米国」と等しい場合、[社会保障番号]の状態は「オプション」です。

これにより、ユーザーには、地理的位置に適した数字を入力するためのフィールドが1つのみ表示されるようになります。

フォームのどちらのフィールドもオプションの状態に設定されます。必須に設定されていると、ユーザーは表示されない場合でもフィールドに入力しなくてはなりません。

最後のルール例は、フォームのページの非表示を表示にすることです。フォームには非表示のページがあります。それは給与詳細ページです。このページは、給与明細フィールドが以下の図のように「はい」に設定されている場合のみ表示されます。

The screenshot shows a rule configuration window titled "If 'Payroll Details'". It is divided into two main sections: "Condition" and "Then".

- Condition *:** A dropdown menu is set to "equals".
- Value *:** A dropdown menu is set to "Yes".
- Then:**
 - Elements group *:** Three radio buttons are present: "Fields" (unselected), "Pages" (selected), and "Default elements" (unselected).
 - Page *:** A dropdown menu is set to "Payroll Details".
 - Condition *:** A dropdown menu is set to "state is".
 - State *:** A dropdown menu is set to "visible".

At the bottom of the window, there are two buttons: "Create another" (with a close icon) and "Create rule". A "Cancel" button is located in the top right corner.

このルールは、最初に説明したルールと連動して動作します。マリオンは給与詳細フィールドにアクセスできないため、2ページ目にアクセスすることができません。

ルールロジック

ルールロジックは、フォーム内で使用されている要素によって異なります。次の表は、特定の要素の種類に適用できるルールロジックを示しています。

フィールドタイプ	IFオプション	Thenオプション	状態
テキスト	次を含む、次を含まない、次と等しい、次と等しくない	状態は 値を次に設定：	オプション 必須読み 取り専用 非表示
テキスト領域	次を含む、次を含まない、次と等しい、次と等しくない	状態は 値を次に設定：	オプション 必須読み 取り専用 非表示
数値	次と等しい、次と等しくない、次未満である、次以下である、次を上回る、次以上である	状態は 値を次に設定：	オプション 必須読み 取り専用 非表示
Date	次と等しい、次と等しくない、次より後である、次より前である、以下の月である、以下の月ではない、以下の年である、以下の年ではない	状態は 値を次に設定：	オプション 必須読み 取り専用 非表示
時間	次と等しい、次と等しくない、次より後である、次より前である	状態は 値を次に設定：	オプション 必須読み 取り専用 非表示
アップロード	ファイルサイズが次より大きい、ファイルサイズが次より小さい、ファイルタイプが次である、ファイルタイプが次ではない	状態は	

フィールドタイプ	IFオプション	Thenオプション	状態
ドロップダウン	単一選択:次と等しい、次と等しくない 複数選択:次を含む、次を含まない、選択数量が次である、選択数量が次ではない、選択数量が次未満である、選択数量が次以下である、選択数量が次を超えている、選択数量が次以上である	状態は 値を次に設定:	オプション 必須読み取り専用 非表示
ラジオグループ	次と等しい、次と等しくない	状態は	オプション 必須読み取り専用 非表示
チェックボックスグループ	単一選択:次と等しい、次と等しくない 複数選択:次を含む、次を含まない、選択数量が次である、選択数量が次ではない、選択数量が次未満である、選択数量が次以下である、選択数量が次を超えている、選択数量が次以上である	状態は 値を次に設定:	オプション 必須読み取り専用 非表示
表	追加された行数が次と等しい、追加された行数が次より大きい、追加された行数が次より小さい	選択不可	

デフォルトアイテムには、以下が適用されます。

フィールド	説明
ページ	[Then]にのみ追加でき、[状態]で [非表示]および [表示]の変更が許可されます。
送信者	[f]にのみ追加でき、次であるが許可され、次いで、指定された送信者が入力されます。
送信	[Then]にのみ追加でき、承認のために送信するかしないかのどちらかです。2つのオプションは、[承認が必要]または [承認は不要]です。
優先度	[Then]にのみ追加でき、使用できるオプションは次であるです。フォームの基本情報ページのデフォルト設定を上書きする優先度を設定できます。
SLA	[Then]にのみ追加でき、使用できるオプションは次であるです。フォームの基本情報ページのデフォルト設定を上書きするSLAを設定できます。

Interactの制限

Interactの要素には、以下の制限が適用されます。

要素数

は以下のとおりです。



- **1ページあたりの最大フィールド数** – フォームの表示にかかる時間が長くなるため、1ページあたり40フィールドを超えないことを推奨します。
- **最大ページ数** – 1ページあたり最大30フィールドで10ページを超えないことを推奨します。これを超えると、レンダリング時間が長くなります。

フォーム用のカスタムアイコン

アイコンは、PNG、JPG、SVGのいずれかのファイルで、256 x 266 pxおよび30KB以下のサイズでなければなりません。

フォームフィールドの制限

次の表は、フォームフィールドの制限を示しています。

フィールド	データ型	適用される制限
オートメーションID	テキスト	自動化識別子は50文字に制限されています。
説明	テキスト	すべてのフィールド要素の説明は150文字に制限されています。
ラベル	テキスト	ラベルは50文字に制限されています。  これは、ドロップダウン、ラジオグループ、チェックボックスグループなどのリストタイプフィールドに表示される項目のラベルにも適用されます。
段落	テキスト	段落要素は500文字に制限されています。
要素のアップロード	ファイル添付 - ファイルと画像	デフォルトでは、ファイルの最大アップロードサイズは5Mbで、画像サイズは1920 x 1080pxに制限されています。 システム管理者は、サーバー上のHub構成ファイルで定義された値を変更することによって、最大サイズを増やすことができます。[アップロードを作成]ページの 最大サイズ フィールドで指定した値は、構成ファイルで定義されている値より大きくすることはできません(デフォルトでは5)。  実行可能ファイル(.exe拡張子のファイル)はアップロードできません。

Interactフォームとビジネスプロセスの関係

Interactフォームとビジネスプロセスには1対1の関係があります。1つのビジネスプロセスに1つ以上のフォームを割り当てることはできません。また、1つのフォームに1つ以上のビジネスプロセスを割り当てることはできません。